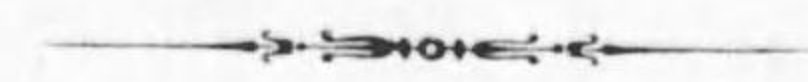


97

特輯第十二號

昭和十二年

朝鮮近海の海況並漁況



朝鮮總督府水産試験場

昭和十五年十月



始



特 205
876

朝鮮總督府水産試験場特輯第十二號

昭和十二年

朝鮮近海の海況並漁況

目 次

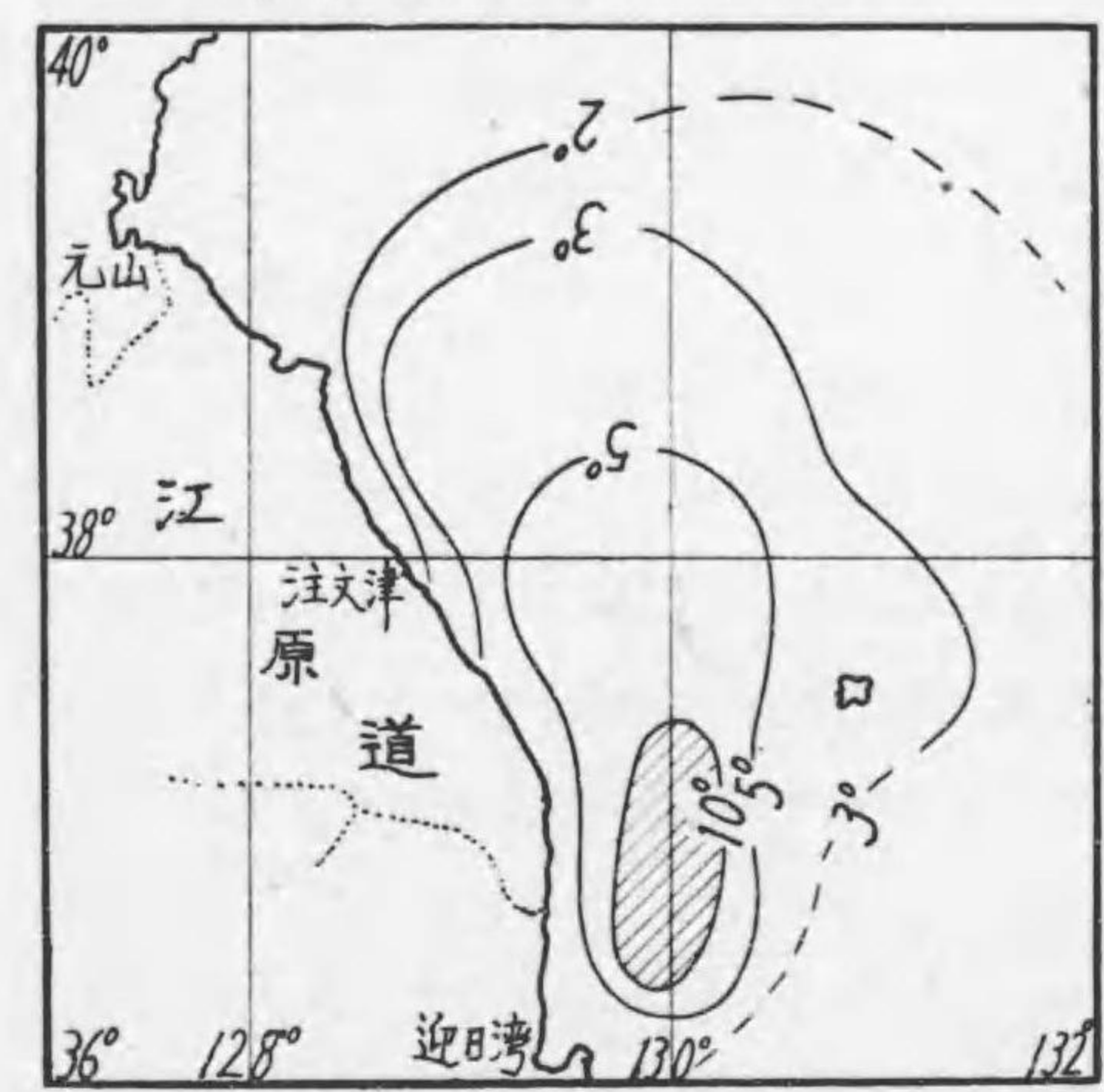
| | |
|---------------|----|
| 昭和12年朝鮮近海海況概要 | 1 |
| 昭和12年朝鮮近海漁況概要 | 6 |
| 咸鏡北道 | 6 |
| 咸鏡南道 | 7 |
| 江原道 | 9 |
| 慶尙北道 | 13 |
| 慶尙南道 | 22 |
| 全羅南道 | 26 |
| 全羅北道 | 28 |
| 忠清南道 | 31 |
| 京畿道 | 35 |
| 黃海道 | 35 |
| 平安南道 | 37 |
| 平安北道 | 38 |
| マイワシ漁況(昭和12年) | 38 |

昭和12年朝鮮近海海況概要

朝鮮東近海の海況は日本海の中層下層を満たす固有の冷水の動きに支配せらるる事甚だ大なるものあり。昨昭和11年においては年初より特に江原道、鬱陵島近海に冷水卓越し2月、3月、4月次第に優勢となり暖流の北上を阻止し、且つ高温高鹹の所謂「日本海南西部の中層水」を鬱陵島西方より漸次同島の南西方に壓迫し、注文津—鬱陵島間は全くこの寒冷なる海水に占據せられ同近海嘗つて見ざる異常の海況を呈しマイワシ漁業に甚大なる影響を與へ、江原道における同春漁は極めて不況を呈したり。

江原道近海におけるかくの如き海況は引續き同年秋頃まで繼續したるがその後漸次冷水の勢力減退して平調に復せんとし、本年(昭和12年)に入つては2、3、4月北上暖流の顯著に現はるるにつれ、この表面暖流を鬱陵島近海になほ瀰漫する低冷水と互に交錯して同附近は極めて複雑なる海況を呈し、又中層暖水は西南方海岸近くに壓迫せられその中心は迎日灣口北東30~40哩附近に存在したり。即ち下層冷水の勢力も未だ充分衰へず平調といふ程にはあらざるも前年の如き異常の現象を示さず、マイワシの春漁も注文津附近において特に好況を呈せり。

第1圖 水面下100米層水温分布圖
(江原道沿海、昭和12年5月)

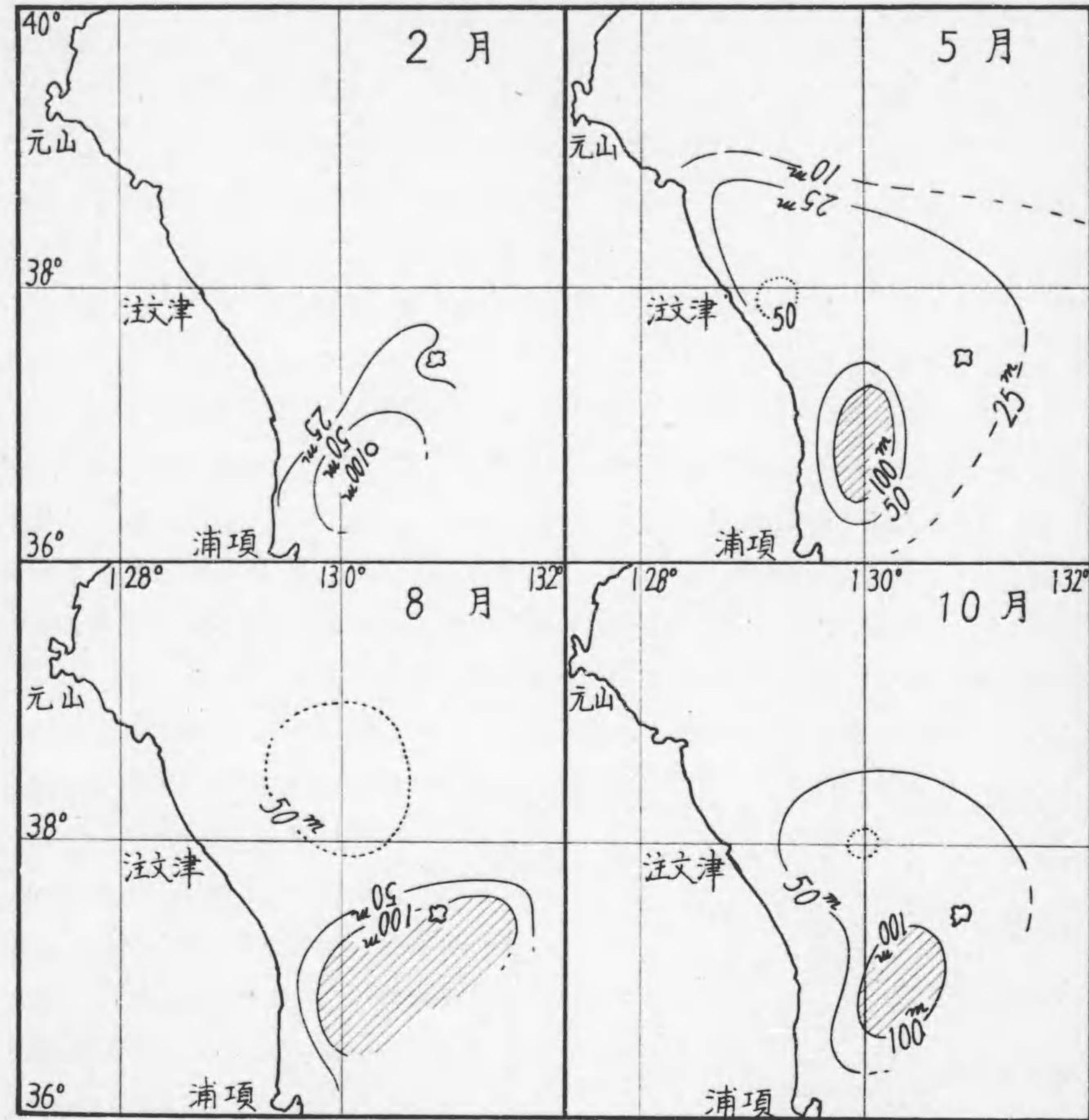


第1圖は本年5月(上旬)江原道近海における水面下100米層の水温水平分布圖にして、第2圖は水温10度以上の高温水が水面下100米、50米、25米(10米)等各層において占むる範圍を示したるものなり(2、5、8、10各月上旬)。同近海における所謂中層水(暖流系水)の範圍はこれ等の圖によつて容易に之を推知するこゝを得べし。

對馬海峽西水道より日本海に入る暖流系水は一部朝鮮東海岸に沿ひ表面を北上するも、途中右方(東方)に擴散し(特に江原道の中中部より右折して鬱陵島の北部に

出で)去るを以て咸南北沿海における南方暖流系水の影響は甚だ微弱にして通常北緯39度附近を

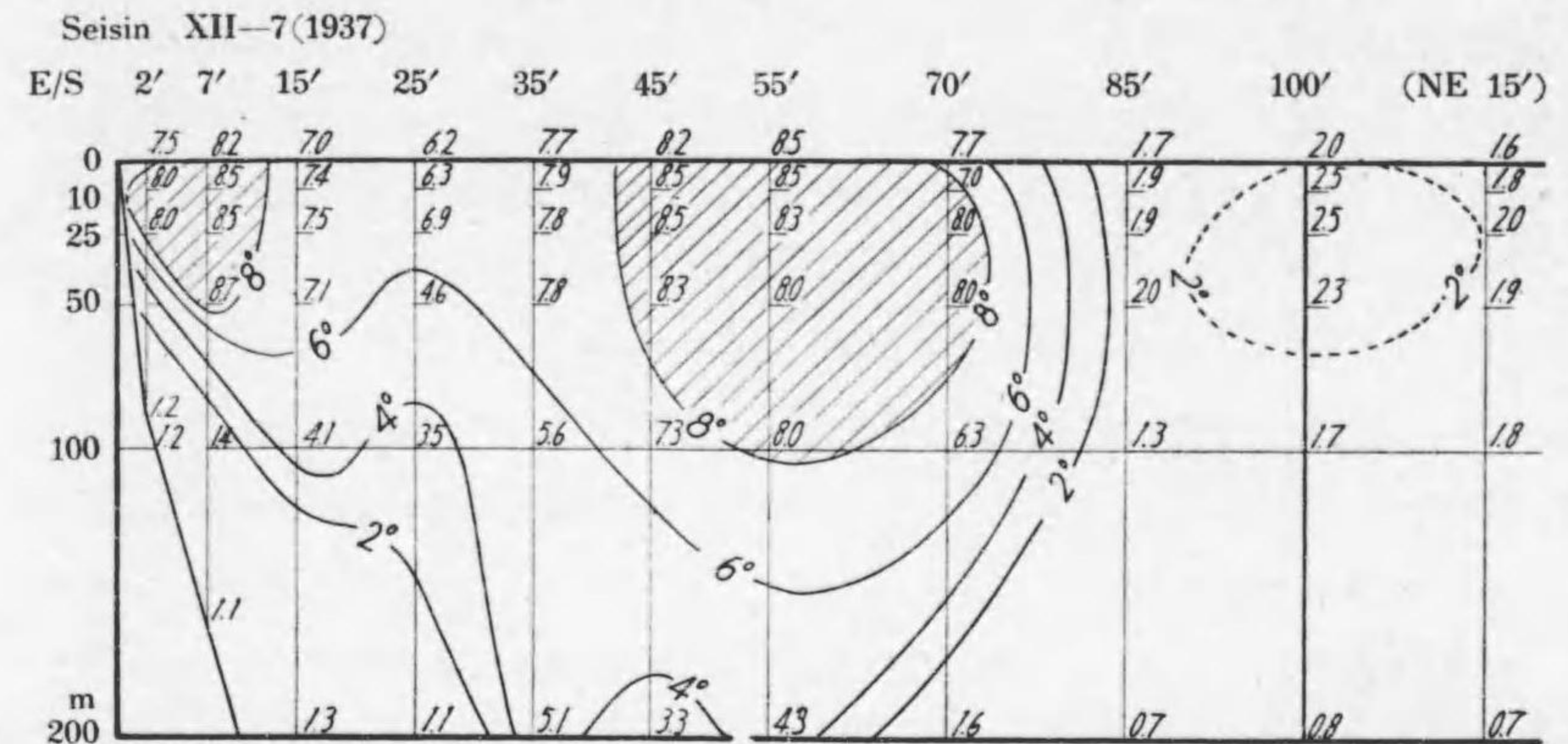
第2圖 100, 50, 25, (10)米各水層に於ける10度以上の水温範囲 (江原道沿海, 昭和12年2, 5, 8, 10各月)



その北限とするものの如く、時に高温、高鹹の暖流水が北緯40度以北に侵出することあるもこれを北鮮沿海にまで追跡し得たることなし。この年(昭和12年)夏より秋にかけ東近海一帯の表面水温は平年に比し稍、過高(1~2度)に経過したるが特に著しき異常現象を認めず、上記暖流水の北上傾向も別に平年に異なる模様なかりき。

北鮮近海10~11月頃も同様に水温平年より稍、過高にして10月上旬清津沿海18度内外、11月上旬14度餘等何れも平年に比し2~3度高温なりしが稍、沖合より沿海州にかけては比較的

第3圖 清津東方沖合横断面圖, 水温(昭和12年12月7日, 咸北水試)



温にして沿海州を流下する寒流の影響かと思はるものあり、この海況は12月に入りて特に顯著に現はれ、温度1~2度の寒流系水70~80哩以上の沖合より8度内外の暖水を海岸に壓迫し來たれるが如き状を示せり。斯くの如き海況は北鮮近海のマイワシ漁業に對し重大なる役割を演ずるものの如く(中井, 水産研究誌第34卷第4號)この秋同地方のマイワシ漁業は特に豊漁にして今までになき數量の漁獲をみたり。

朝鮮南及西近海海況は、年による相違東海岸ほき顯著ならず。東海岸にあつては上述の如く日本海の中層下層を滿たす冷水の動きによつて海況に急激なる變化を來たし且つその影響するところ甚だ大なるもその及ぶ範圍は對馬海峽西水道あたりまでを限度とし以西には及ばず。南鮮沿海を洗ふ對馬海流の流勢は、年により又季節により消長あり、鹽分の濃き黒潮の分派を低鹹なる支那東海乃至黃海系水との相互混入の程度によつて海況を異にす。通例6~7月支那大陸方面の雨季に入ると共に表面水鹽分は急に低下し、8~9月頃最低(30.00~31.00%位)となり、10~11月頃より漸次回復し冬季より春季にかけてその濃度を増し、春4~5月頃最高に達し34.50~34.80%位となるを常態とす。尤も夏季表面水鹽分は上記の如く甚だしくその濃度を減ずるも温度の高き時季のこゝまでその影響は容易に下層に及ばず、水面下50~100米以深は依然として34.00%以上の鹽分を持續す。

昭和12年中の南鮮沿海海況には特記すべきものなく大體平年並に経過せるものと思はる。此年對馬海峽西水道における最大鹽分は4月にあらはれ34.60~34.70%、5月には稍、淡く、6月には既に34.00%未滿のもの來たり、7月~8月益々鹹度低下し9月最低にして上層の一部に

は31.20~31.30%のもの流過せり。(100~150米層附近は34.20~34.30%位)

對馬海峡西水道海底に侵出する日本海の低冷水は、例年2月頃より減退し、夏より秋にかけてその勢力の増加するを常態とす。蔚崎燈臺南東沖においては(距岸凡そ20~30哩位の間)海底には殆ど常にこの低冷水を見、その勢の特に強き場合には西水道に這ひ出でて廣く朝鮮側釜山沿岸にまで瀰漫することあるも、昭和12年中においてはかかる現象を見ることなく、唯々釜山、對馬間最深部の海底にその尖端をあらはすさいふ程度に過ぎざりき。

黃海における海流は大體支那東海北部、黃渤海を通じて稍々獨立系統を爲すを見るを妥當とすべく、黒潮分派の影響極めて少なく且つ黃渤海の地勢よりみるも特別優勢なる寒流を生ずる餘地なく、従つて日本海側の如き寒暖流の消長によりて生ずる大なる海況の變化現はれ難し。唯々黃海も1年間の水温の變化は日本海と同様相當に著しく、特に沿岸淺海部にありては冬季甚だしく水温低下し北部海岸は結氷し沖合にありても北部は2度乃至3度、南部7度乃至8度位となり大部分は寒帯性の海況を呈するも、夏期暑熱の候となれば水温著しく上昇し、沖合表面水温25度以上、沿岸内灣等にありてはなほ甚だしく高温となる。即ち黃渤海は大陸に隣接する淺海なるを以て氣象の影響をうくること特に著しきなり。

夏季沖合海底に5~6度乃至7~8度の低冷水残留し水温の垂直傾度著しきものあるも秋より冬の間は上下層殆ど等温、等鹽分となり對流作用下底にまで及ぶべく、従つて黃海沖合の下底冷水は特殊の性状を保有する別個の系統に屬するものにあらざることを知るべし。

夏季下底に残存するこの低冷水は激しき潮流により沿岸島嶼岬角に衝激して表面に現はれ、その附近の表面水温を低下せしめ濃霧發生の一因たらしむるも、淺海のこゝまで全體としての容量大ならず従つて海況に大なる變化を及ぼすが如き原動力はなり得ざるものとす。

昭和12年中の海況の推移も大體平年並にして特に異常の現象を認めず。2~3月の最低水温時期においては、黃海道—山東高角間中央部沖合5度内外、全北沖合6度内外、全南大黒山群島沖合7度餘、沿岸部距岸2~10哩附近は黃海道3.5~4度、全北5度内外、全南6度内外、山東高角附近2.5度等、而して沖合、沿岸部を問はず南北何れも上下層殆ど全く等温状態にして、水温差のあるところも最大0.5度を出でず。鹽分は北部(黃海道西沖)32.20~32.30%、南部32.70%内外、黃海、忠南、全北の沿岸部31.70~31.80%、全南沿岸32.30~32.40%、山東高角附近31.30%位、鹽分亦各地共上下層の差極めて僅少なり。

5月、東海岸の注文津沖合には14~15度、34.40%の高温高鹹の對馬海流系水來たるも、黃海側にありては最も高温高鹹なる全南大黒山群島近海においても水温12~13度以下、鹽分33.00%

未滿なり、以て黃海側が如何に南方の高鹹暖流水の影響の小なるかを知るべし。

8月、水温最高の時期においては沖合表面水温26.5~27.5度、上下層水温差は相當大なるが10度以下の低冷水の範圍は比較的狭小なるものの如く、黃海道西方にあつては50哩沖9度、又山東高角北方40~50哩に6~7度のものあるも忠南大川西方40哩、全北末島西沖80哩、何れも底水温10度以上なり。唯大黒山群島西方—紅島西南西15哩沖の海底に、8.5度のものあるは同島より北西沖合に互る稍々深き部分に續くものなるべし。鹽分は8~9月を最低の時期とし、表面水鹽分巡威島西沖合31.50%内外、同沿岸部30.50%内外、全北西沖31.00~31.50%、全南沖合30.40~31.00%等とす。これらの表面の低鹹水は支那東海系水と見るべく南方濟州海峡に互つて瀰漫し、全羅南北道沿岸部に残留する32.00~32.50%の比較的高鹹なるものを圍繞す。これ亦平年並の海況なり。(西田)

昭和12年朝鮮近海漁況概要

[各道水産試験場よりの報告に依る]

咸鏡北道

一、マイワシ

1. 鱈巾着網漁業 漁場は城津沖合より北は沿海州沖合に至るまで廣大なる區域にして漁期は7月中旬より12月初旬までにて例年に比し稍々長く、操業船總數98隻、總水揚高4,780,682樽、前年に比し1819,847樽の増加にて1隻平均水揚高48,782樽、近年稀れなる豊漁なり。

2. 鱈流刺網漁業 漁場は同様本道全沿岸にして夏の上り鱈は距岸70~100哩、秋の下り鱈は10~20哩なり。漁期は5月下旬より11月下旬までにして盛漁期は10月、11月なり。機船流刺網船327隻、帆船流刺網船2,603隻、總操業船數2,930隻、總水揚高1,109,487樽、前年に比し263,365樽の増加を見る。

3. 鱈定地網漁業 漁場は本道全沿岸、漁期は7月中旬より11月下旬迄にして盛漁期は10月中旬より11月上旬、總操業船數83統、總水揚高714,873樽にして1統當8,612樽なり。前年に比し368,670樽の増加なり。

4. 其他 地曳網、擧網にて19,671樽の漁獲ありたり。

二、タチウロ

定地網漁業 鱈定地網により混獲せらる。漁期は10月、漁獲高102,243圓、前年に比し32,819圓の増獲なり。

三、機船底曳網漁業

漁場は本道より沿海州沖合までにして漁期は12月下旬より3月初旬までなり。

四、メンタイ並にタラ延繩漁業

漁場は本道沖合、漁期は1~3月。

五、メンタイ刺網漁業

漁場は明川及清津沖合にして漁期は底曳網及延繩漁業と同様1~3月の冬期なり。操業船數63隻、總漁獲金額49,990圓にして前年に比し39,822圓の増加なり。

| 魚種 | 昭和12年漁獲高 | 昭和11年漁獲高 | 前年に比し増減 |
|------|----------|----------|----------|
| メンタイ | 283,870圓 | 294,018圓 | 10,148圓減 |
| カレヒ | 140,825圓 | 196,322圓 | 55,497圓減 |
| タラ | 208,268圓 | 186,087圓 | 22,181圓増 |

| | 操業船數 | 漁獲高 | 前年との比較 |
|--------|------|----------|--------------|
| メンタイ延繩 | 344隻 | 89,892圓 | 前年に比し4,823圓減 |
| タラ延繩 | 67,, | 16,813,, | |

六、サバ延繩漁業

漁場は本道沖合50~60哩にして漁期は6月上旬より11月上旬までにて道外よりの出漁船多く大部分は小型發動機船の12馬力より20馬力のものを使用し、1航海約1週間位にして操業船數308隻、總漁獲金額387,982圓、前年に比し122,584圓の増額なり。延繩漁業の外サバ一本釣もあれど僅かなり。

七、ニシン刺網漁業

漁場は主として明川郡沿岸。漁期は1月~2月下旬。メンタイ刺網に混獲せらるるこも多し。従業船數36隻、漁獲金額22,990圓、前年に比し12,915圓増加。

刺網の外定地網及鱈巾着網にて243,801圓の漁獲あり、前年に比し40,076圓の増加なり。

咸鏡南道

一、メンタイ 例年の如く11月中旬前後を以て本漁に入り12月盛漁、1月中旬より同下旬の頃終漁となる。12月下旬天候悪化したため其後の漁況危懼せられたるも、1月に入り天候比較的良好、且つ魚群の沿岸近くの回游も遅くまで続き1月中の漁獲は凡ての漁具を通じて例年に比し多かりき。特に沿岸漁具たる底角網に著し。

本漁期の總漁獲高十七萬七千駄、七百三十四萬圓に及び記録的の數字を示せり。

(1) 9月以降1月迄の各月漁獲状況

| 月別 | 漁具 | | | | | | 合計 |
|------|--------------|-----------|---------|-----------|----------|-----------|----|
| | 機船底曳 | 底角網 | 機船刺網 | 帆船刺網 | 延繩 | | |
| 9月 | 駄 14137 | 駄 0 | 駄 0 | 駄 0 | 駄 6888 | 駄 41025 | |
| 10月 | 63777 | 0 | 0 | 0 | 1,23730 | 1,91107 | |
| 11月 | 18,86599 | 0 | 1,36302 | 1,98780 | 3,07426 | 25,26407 | |
| 12月 | 29,01760 | 23,87500 | 4,93000 | 29,19443 | 3,95200 | 90,96903 | |
| 1月 | 18,74089 | 25,09300 | 2,08744 | 11,89356 | 1,85810 | 55,67299 | |
| 合 | 数量 67,60362 | 48,96800 | 8,38046 | 43,07579 | 10,19944 | 177,22741 | |
| 計 | 金額 2,656,945 | 1,927,895 | 355,614 | 1,936,933 | 456,384 | 7,343,770 | |
| 従漁船數 | 44 | 463 | 50 | 約400 | 約400 | — | |
| 1統當 | 1,53649 | 10576 | 16760 | 10768 | 2549 | — | |

備考 機船底曳は第2區機船底曳網水産組合、其他は漁業組合統計による

(2) 漁具別漁況概要

(1) 機船底曳網 夜間操業許可期間の初日11月15日より一齊にメンタイ漁に移り當初より好漁、12月下旬天候悪化のため休漁多かりしが、1月に入り天候回復と共に好漁。例年1月に入れ

ば魚群の乗網減ずるも本年は1月に入りても満船したる日少からず、1月15日を以て終漁。

漁場。例年と大差なく西湖津沖。

(ロ)底角網 11月下旬着漁。12月上旬より漁獲あり、12月中旬、1月上旬の2回濃群の回游あり大漁す。例年1月上旬を以て終漁するもの多きも、本年は1月の水揚げ12月と大差なし。漁場、例年通り退潮、三湖沖合10哩附近としたりも、1月に入りて新浦東海岸陽化灣方面へ約100統近く移動し、3,000駄近くの漁獲ありたり。従來年によりては新浦附近にも少量の漁獲ありしこもあるも本年の如く斯く大漁したるこは異例なり。最低50駄、最高200駄、平均100駄にして平年に比し好漁。

(ハ)刺網 11月上旬着漁。同下旬より12月中旬頃盛漁期に入り好漁、1月下旬終漁。例年に比し終漁期1~2旬遅る。漁場、11月馬養島南東沖合、12月に入り主要漁場が新浦、新昌沖合に移りたり。

(ニ)延繩 10月中旬頃より專業従漁を始め、11月中旬より12月上旬に好漁し、多くは1月下旬に到り終漁。出漁船數例年より減少せり。

二、マイワシ「春漁」。マイワシの來游5月中旬頃より多少あり、同下旬より流網従漁船漸次増加す。本道流網漁船は5月中咸鏡北道に出漁するもの多し。7月中旬より鱒被害のため休漁し春漁を終る。巾着網船7月より出漁せるものもあるも漁獲少量に過ぎる。春漁の主要漁場は遮湖東沖合20~30哩附近なり。

| 漁具 月別 | 漁具 | | | | | 合計 |
|----------|--------------|--------|-----------|---------|-----------|----|
| | 巾着網 | 機船流網 | 帆船流網 | 定置網 | 合計 | |
| 5月 | — | 211 | 5,134 | 1,505 | 6,850 | |
| 6月 | — | 1,496 | 43,145 | 961 | 45,602 | |
| 7月 | 26,693 | 369 | 7,612 | 612 | 35,286 | |
| 8月 | 52,088 | — | 537 | 146 | 52,771 | |
| 9月 | 254,115 | 590 | 3,916 | 200 | 258,821 | |
| 10月 | 421,163 | 4,622 | 110,715 | 50,529 | 587,029 | |
| 11月 | 1,704,631 | 12,341 | 231,478 | 177,289 | 2,125,739 | |
| 12月 | 8,462 | 1,050 | 5,272 | 20,567 | 35,351 | |
| 合計 | 数量 2,467,152 | 20,679 | 407,809 | 251,809 | 3,147,449 | |
| 計 | 金額 5,921,154 | 51,697 | 1,019,522 | 579,160 | 7,571,533 | |
| 出漁船數 | 180 | 20 | 800 | — | — | |
| 1隻當漁 | 13,706 | 2,584 | 1,274 | — | — | |

「秋漁」。9月上旬巾着網船に多少の漁獲を見たる外以後漁獲途絶え魚群來游の中絶長期に互る。10月上旬水温降下と共に遮湖沖合に回游あり。10月下旬より盛漁期に入り、11月新浦沖に漁場移動、同下旬漁場更に長箭沖に移る。巾着網は稀有の豊漁なりしが長箭沖に移りてより天候不順にして殆き出漁せず。流網は漁船により漁不漁あり、巾着網の如く好漁とは謂ひ難し。

本道全般としては巾着網船の豊漁により、かねて待望の2百萬樽を突破して3百萬樽以上に及び、全額概算750萬圓に達せり。

三、サバ(延繩漁業) 5月中旬馬養島沖帆船により1週間内外航程にて鬱陵島北方において従漁、漸次漁場沿岸に近接し7月中旬舞水端沖合なる。8月中旬例年通り天候不順のため休漁。10月に入り馬養島沖にて漁あり11月上旬終漁。

本年は例年に比し出漁船數減少し例年の3分の2程度にて145隻、漁獲高は1隻當平均20駄にて好漁。道内の漁業組合水揚高977駄、110,323圓。

四、ニシン(定置網漁業) 永興灣を主要漁場とし、咸興灣を合し1,000統餘の壺網、小臺網あり。例年より回游早く2月下旬初漁あり。3月盛漁、5月上旬終漁。近年稀れなる不漁にして特に灣内深部は不漁を極めたり。

元山市場の水揚高5,644駄、250,290圓なるも本道沿岸の漁獲は4,000駄、180,000圓程度。

五、海況竝に漁況の特異現象 例年回游少きタチウナ、イカ等の來游比較的多く、又サバ、アヂの幼魚定置網に多量に漁獲せらる。特にアヂの幼魚の本年の如く大量に混獲せられたるこは近年になき現象なり。

江原道

一、タラ(延繩漁業) 本道における本漁業は昭和10年までは周年に互り漁獲を見、盛漁期を春秋の2期とせしが本年も昨11年同様夏期殆き漁なく、7、8の2ヶ月間に全沿海において漁獲せられたるもの僅々82尾に過ぎず。

本年は冬期最も好漁あり、春秋之れに次ぐ。即ち1、2、3月注文津以南各地共好漁あり、4、5、6月と漸次減少し7月に入りて急激に減少皆無に等しき状態を示し引續き8月一杯亦同様なりしが10月より好漁に向ひ、11、12月再び注文津以南全沿岸好漁を見たり。

漁場は殆んま注文津以南に限られ、北部は僅かに水源端附近において若干の漁事ありたるに過ぎず。注文津以南の漁場中最も好漁場は注文津沖合と三陟・臨院兩地の中間沖合の2個所にして特に前者(注文津沖)の方よろしく58,300尾の水揚(注文津以南の漁獲數量合計約148,000尾の約3割5分)三陟、臨院兩地共に約25,000尾内外を水揚せり。

出漁船數は昨年に比し約半減し201隻を示すに至る。これ近年漸次タラの漁獲減少するこに基因するものと思はる。注文津、遠徳(臨院)、竹邊、三陟等の漁業組合管下においては30隻乃至50隻の漁船出漁し相當好漁せしも本道一般より見るこきは1隻平均200圓乃至350圓内外に

して昨年より稍々不良なり。之れを例年と比較するに、注文津漁業組合管下は好漁を見せたるも、他の漁業組合管内は平年並或は平年以下の成績なり。

二、メンタイ(延縄漁業) 本年のメンタイ漁業を見るに注文津以南は1, 2, 3, 4月及び9, 10, 11, 12月に好漁あり、5, 6, 7, 8月の暖き時季には殆んど漁獲なく、例へば注文津以南1ヶ年間の漁獲高898,700尾中5~8の4箇月間の漁獲は僅に67,150尾に過ぎず。

注文津以北は1月より8月一杯までは全沿岸殆んど漁獲なく、9月以降12月までを漁期とし殊に10, 11月盛漁期にして好況を呈したり。

漁場は主として三陟、注文津、文岩津、巨津、高城、長箭各漁業組合管下、距岸2~8哩内外の處にして延縄により漁獲せらるる外タラ延縄に混獲せらる。出漁船数は昨年度に比して約30隻を増し156隻なる。1隻當平均最高1日3,000尾位より最低200尾内外を占む。

本年は例年の如く周年漁事を見るこまなく、注文津以北は9月以降において、注文津以南は1月より4月及び9, 10月好漁を見たり。就中長箭、高城、巨津、文岩津漁業組合管下は例年に見ざる漁獲を示し、本道全海區より見る時は近年漸次漁獲減少し來れるところ本年は僅か乍ら昨年に比し漁獲數量増加せり。

三、サバ 5月上旬三陟沖合において延縄により初漁あり、下旬本道全沿海漁期に入り、7, 8月まで漁事持続したるが9月に入り急激に不振なる。流網、10月注文津沖合において初漁あり漸次秋漁の盛期に入り、10月下旬巾着網の操業を見、11月に入りて流網、巾着網共に最も好況を呈したるが12月下旬に至りて不振なる。

漁場、本道全沿海に亙るも5, 6, 7月の「夏漁」は注文津以南盛んにして同以北は見ざるべき漁なく、「秋漁」は注文津沖合を好漁場とし流網、巾着網漁船増集し注文津港内に入港不能の漁船は墨湖、束草に入港せる有様なりき。一般に夏漁は距岸10哩乃至50哩内外に及ぶも秋漁は極く沿岸に接近し各種漁船ともに距岸2~15哩内外を占む。

從漁船、機船巾着網漁船約90隻、約50日間本道管内を根據とし、機船流網35隻、帆船流網9隻、延縄漁船145隻操業せり。これら船数は巾着網漁船以外は各種漁船共に多少の減少なり。

漁獲高、巾着網1隻平均20,000圓内外、機船流網3,000圓内外、帆船流網1,200圓内外、延縄700圓内外の水揚をなす。

本年の漁況を例年に比較するに夏漁秋漁共に好漁にして魚體亦一般に大型のもの多く、鯖漁業近年になき好結果を示せり。

この年晩夏の候沿岸に來遊する小鯖群中に小鯨多量に混入し、寧ろ小鯨群を稱し得る位なりし

が斯く小鯨の群來は例年に見ざる現象なり。

四、マイワシ 4月中旬蔚珍郡下に流網により初漁を見たる後次第に漁場北漸し、5月中旬、全沿海漁期に入り、6月中旬より本格的漁期となり、7月下旬を以て「春漁」を終る。「秋漁」は10月上旬高城郡、通川郡の流網漁船により開始せられ、10月10日より水源端東北10哩乃至20哩附近において巾着網初漁あり、引續き漁事繼續し11月中旬に及びて本格的漁期に入り、高城、通川兩郡沿海においては巾着網船、襄陽、江陵兩郡沿海にあつては流網船從漁す。12月盛漁期となりてより強風連日に亙つて吹き出漁不能となり魚群の通過を傍觀して荒天を怨むの狀を呈し、1月に入り稍々好天氣となりしも、既に盛漁期を逸し巾着網、流網共に秋漁は例年になく不況に終れり。

本年「春漁」の漁獲高は例年と大差なし。即ち注文津附近は格別の好漁にして例年になき水揚高(216,340樽)にして本道春漁期の總漁獲高(7月末現在)622,413樽の約3割を示したるが他地方において減少を見たるにより差引平年並なる。「秋漁」は上記の如く強風の爲魚群を沖合に認むるも出漁不能にし漁獲成績面白からず、尤も水揚高は前年度に比して稍々低下したる程度に過ぎざるも從漁船數増加したるにより1隻當實収入は減少したり。

本年度總水揚高2,125,052樽、内巾着網約125隻約1,657,000樽、流網約458,000樽、定置網9,000樽。巾着網船は10月約40隻、11月中旬迄に120隻、12月上旬より150隻内外、1月は50隻操業し1隻當平均22,000樽内外(約48,400圓)、機船流網388隻平均約1,200樽内外(約2,400圓)、帆船流網1,256隻平均約700樽(約1,400圓)内外の水揚をなす。

本年度機船流網の増加は、蔚珍郡において昨昭和11年度より開始したる朝鮮型漁船に發動機を据付けたるものの急増せしに基因するものにして特記すべき事項なりき。

尙ほ水源端附近において巾着網船により3,4回サバの大群の漁獲あり、例年になき現象を占む。

五、ニシン ニシン漁業は近年急激にその漁獲を増加し、1月蔚珍及三陟郡南部に初漁ありてより全沿海に漁事あり。2月上旬より水源端以北の高城及通川兩郡下の定置網に好漁ありたるも同下旬一時不振なる。3月中旬江陵郡以南漸次不振となり、下旬に及んで殆んど終漁となりたるが襄陽、高城、通川郡下の定置網は各地先において豊凶あるも一般に好漁を持続せり。5月中旬全沿岸終漁。

漁場、蔚珍、三陟、江陵、襄陽、高城、通川の各郡に及ぶ全沿海にして殊に長箭附近を好漁場とし、巨津、文岩津、束草附近之れに次ぐ。

漁具、落網289統、擧網389統、罾網48統、其他70統内外あり。又刺網132隻の從業を見た

り。

漁獲高、落網1統平均2,000圓内外、擧網1統平均1,100圓内外、其他1統平均900圓内外、刺網1隻當平均500圓内外程度。本年度總漁獲高概算120萬圓にして大體昨年と大差なし。

本年は例年になく江陵郡北部注文津附近にて底刺網を以て相當好漁を見、又本年度漁期を通じて一般に魚體例年より小型のもの多し。尙ほ襄陽郡及高城郡南部地方において體長20糎以下のもの1日100駄(1駄2,000尾)以上の漁獲を爲したるこゝ再三ありたり。又水源端以北は各地先において豊凶定まらず、1日500駄を1網に漁獲するあり、又全漁期を通じて殆ど漁事なき網もありたり。

六、カレヒ、ヒラメ 例年漁期は1月より4月、10月より12月の2回なるも本年は5、6月及び9、10、11月の如く漁期に遅速ありたり。

漁場は沿岸一帯なるも特に高城、蔚珍兩郡に好漁を見たり。漁具は主として帆船手繰網にして機船底曳網、忽致網及び船曳網之れに次ぎ、帆船手繰149隻、機船底曳20隻内外、忽致網30隻、船曳網28隻の従漁船あり、約7萬圓の水揚を爲せり。

平均漁獲高帆船手繰350圓内外、機船底曳600圓内外、忽致網300圓内外、船曳網100圓内外程度とす。例年に比較するに逐年漁獲減少する傾向あり。本年も亦漁事不振に終れり。

七、ブリ、サハラ 8月中旬巨津、文岩津において少漁あり。9月に入りて巨津以南各地先において好漁を示し、10月稍々不振となり、11月終漁す。

漁場は巨津以南全沿岸にして殊に蔚珍郡を好漁場とす。漁具は定置網にして1統當の漁獲高を見るに豊凶の差甚だしく、最高蔚珍郡下14,500尾内外の水揚したる網あるも平均500尾程度に過ぎず。本年は刺網船の従漁を見ず。

例年に比し本年は一般に不漁にして例年10月を最盛期とするも本年は9月最も良く、10、11月之れに次げり。サハラは大體においてブリと同様の漁況を呈したり。

八、サケ、マス サケは10、11月を漁期とし特に11月に多く、漁場は三陟郡五十川、高城郡南江(赤壁江)兩川下流及び河口附近に限られ、主として防籠により漁獲せらる。略々平年並漁にして約2,000圓内外の水揚をなせり。

マスは5、6、7月頃を漁期とし(主として6月)、高城郡沿海において定置網に混獲せらる。本年は例年になき甚だしき不漁にして僅か53圓に過ぎず。

九、ワカメ 4月乃至8月の間採取期なるが5月を最盛期とし7月上旬殆んど終了したり。

場所は水源端以南の各沿岸地先にして巨津、墨湖、遠徳、竹邊、箕城、厚浦各漁業組合管下好

漁せるを見る。特に蔚珍郡(竹邊、箕城、厚浦)良好にして江陵郡之れに亞ぐ。

本年漁況は平年並にして、墨湖漁業組合管内に急激に増産したる外特異現象少し。

其他の魚貝藻類の漁況は例年と大差なし。

慶尙北道

一、ニシン 昭和12年(1~12月)における總漁獲高は3,809同59連464,804圓にして前年の5,011同81連541,129圓に比し1,202同22連76,324圓の減少なり。主なる原因は定置網漁業の不振及夏鯨の減による。魚價1同約122圓にて前年の108圓に比し稍々高目なり。(1同は2,000尾、1連は20尾)

1. 鯨定置網漁業

漁場は前年度に比し相當の縮少を見、且つ操業統數前年平均1ヶ月141統なるに本年は63統程度、漁期も亦前年の5月終漁に比し1ヶ月早く4月に終了、前年に比し著しく減獲を見たり。

各月別漁獲高

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 操業統數 | 漁場 |
|----|--------|----------|------|-------------------|
| 1月 | 1,138同 | 176,502圓 | 152統 | 甘浦以北の漁場 |
| 2月 | 175 | 30,372 | 56.. | 甘浦及大浦より江口まで |
| 3月 | 606 | 27,689 | 41.. | 甘浦、松羅、江口、盈徳、丑山、寧海 |
| 4月 | 58 | 3,545 | 4.. | 江口、丑山、清河 |
| 合計 | 1,977 | 238,108 | — | — |

2. 鯨刺網漁業

「冬鯨」 漁場は前年度に比すれば稍々擴大せられ且つ出漁船數も1ヶ月平均1,516隻にて前年の500隻に比し約3倍に上る。漁獲亦従つて増加し數量金額共に約1.5倍となる。

「夏鯨」 漁場は前年に比し8月以降縮少し、出漁船數も前年の1ヶ月45隻に對し本年は15隻に過ぎず、従つて漁獲高亦著しく減少せり。月別漁獲高次表の如し。

(イ) 冬鯨

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 出漁船數 | 漁場 |
|--------|-------|---------|-------|--------------|
| 11年12月 | 42同 | 3,450圓 | 106隻 | 九龍浦以北沿岸 |
| 12年1月 | 1,178 | 157,230 | 4,877 | 殆ど全沿岸 |
| 2月 | 174 | 31,326 | 976 | 同上 |
| 3月 | 49 | 3,822 | 107 | 九龍浦、大浦、曲江、盈徳 |
| 合計 | 1,444 | 185,828 | — | — |

(口) 夏 録

| 月 別 | 漁獲数量 | 同金額 | 漁船数 | 漁 場 |
|------|-------|-------|-----|-------------|
| 5 月 | (40連) | 16圓 | 3隻 | 曲 江 |
| 6 月 | 11同 | 436 | 11 | 甘浦, 清河, 松羅 |
| 7 月 | 25 | 1,074 | 20 | 清河, 松羅 |
| 8 月 | 14 | 508 | 3 | 九龍浦 |
| 9 月 | 101 | 3,659 | 27 | 九龍浦, 寧海, 丑山 |
| 10 月 | 6 | 224 | 10 | 曲江, 寧海 |
| 11 月 | 17 | 731 | 22 | 松羅, 清河 |
| 合 計 | 174 | 6,648 | — | — |

二, サバ 昭和12年(1~12月)中の總漁獲高13,189,543尾576,030圓, 前年中の8,600,090尾505,464圓に比し4,589,453尾70,566圓の増加なり。巾着網及び延繩漁業による増獲による。本年の特異漁況として鬱陵島における延繩漁20萬圓以上の豊漁なりき。

1. 鯖巾着網漁業

漁期6月より12月まで, 操業船数月平均17隻, 前年は漁期7~10月及び12月にして操業船数も14隻, 漁場は大差なきも漁期長期間に亘り且つ魚群亦濃厚なりし爲本年漁期間中4,117,648尾136,955圓の水揚げを得たり。前年度の1,649,588尾169,736圓に比し数量において2,468,090尾の増加なり。但し金額において32,780圓の減なるは魚價の低廉なりしによる。

月別漁獲高

| 月 別 | 漁獲数量 | 同金額 | 船数 | 漁 場 |
|------|-----------|---------|----|-------------|
| 6 月 | 3,875尾 | 102圓 | 3隻 | 大甫 |
| 7 月 | 2,149,246 | 80,664 | 29 | 九龍浦, 浦項 |
| 8 月 | 1,116,043 | 13,765 | 25 | 九龍浦, 大甫, 浦項 |
| 9 月 | 13,045 | 627 | 3 | 九龍浦, 大甫, 江口 |
| 10 月 | 25,809 | 1,770 | 5 | 甘浦, 九龍浦, 江口 |
| 11 月 | 516,697 | 27,846 | 25 | 同 上 |
| 12 月 | 292,933 | 12,181 | 32 | 同 上 |
| 合 計 | 4,117,648 | 136,956 | — | — |

2. 鯖延繩漁業

漁期漁場共に前年と略々同様なるが特に本年度は鬱陵島において大漁あり。出漁船数179隻, 前年の143隻に比し36隻増。漁獲高は7,793,580尾383,656圓, 前年(5,969,782尾258,479圓)に比し1,823,798尾125,177圓の増獲なり。

| 月 別 | 漁獲数量 | 同金額 | 出漁船数 | 漁 場 |
|-----|------------|----------|------|------------|
| 5 月 | 1,878,222尾 | 113,126圓 | 267隻 | 沿岸各地及鬱陵島 |
| 6 月 | 4,368,930 | 210,943 | 256 | 同 上 |
| 7 月 | 1,508,308 | 67,071 | 182 | 甘浦以北沿岸及鬱陵島 |
| 8 月 | 38,120 | 1,517 | 13 | 丑山及鬱陵島 |
| 合 計 | 7,793,530 | 383,656 | — | — |

3. 鯖流網漁業

漁期は大體5月より7~8月頃までにして夫れより後はサバ魚群北上するを以て一時中斷し, 秋11月頃より12月中に南下するを以て再びその漁獲を見, 引續き2月頃まで漁を見るを普通とす。然るに本年は夏期の操業開始は例年通りなりしも終漁は例年より早く7月に終了し, 又秋魚群の南下遅く12月に始まり且つ1月に終漁せり。月別漁獲高等次表の如し。

| 月 別 | 漁獲数量 | 同金額 | 出漁船数 | 漁 場 |
|------|---------|--------|------|-------------------|
| 5 月 | 87,594尾 | 6,463圓 | 12隻 | 甘浦, 九龍浦 |
| 6 月 | 230,197 | 14,296 | 21 | 甘浦, 九龍浦, 浦項 |
| 7 月 | 114,214 | 7,564 | 19 | 甘浦, 九龍浦 |
| 12 月 | 43,926 | 2,381 | 16 | 甘浦, 九龍浦, 江口, 丑山沖合 |
| 翌1月 | 7,710 | 1,325 | 12 | 甘浦, 浦項 |
| 合 計 | 483,641 | 32,028 | — | — |

三, タラ 本年度中の漁獲高1,095,935尾231,294圓にして前年の898,719尾291,890圓に比し197,216尾の増獲なれど金額においては60,596圓の減なり。近年漸減の途を辿り來たりし本漁業が本年度において前年に比し約2萬尾の増加を見たるは機船底曳網漁業の成績良好なりしによる。

1. 機船底曳網漁業

漁場, 漁期は例年とさかばかりなく, 且つ出漁船数も亦前年同様なり。

本漁期(昭和11年9月より同12年4月まで)中の漁獲高720,866尾(248,500圓)にして前年の618,730尾(206,118圓)に比し102,136尾(42,382圓)の増加を示せり。近年減退の傾向にありしところ本年は稍々好漁を示したるが之れを數年前に比すれば尙ほ相當の減獲なり。

| 月 別 | 漁獲数量 | 金 額 | 出漁船数 | 漁 場 |
|-------|---------|---------|------|-----------------|
| 昭和11年 | | | | |
| 9 月 | 14,089尾 | 2,033圓 | 17隻 | 甘浦, 九龍浦, 浦項 |
| 10 月 | 30,746 | 4,146 | 19 | 同 上 |
| 11 月 | 187,582 | 37,606 | 19 | 甘浦, 九龍浦, 浦項, 江口 |
| 12 月 | 148,173 | 55,948 | 21 | 同 上 |
| 昭和12年 | | | | |
| 1 月 | 127,576 | 55,336 | 21 | 同 上 |
| 2 月 | 97,176 | 42,533 | 21 | 同 上 |
| 3 月 | 35,980 | 22,013 | 21 | 同 上 |
| 4 月 | 79,544 | 28,886 | 21 | 同 上 |
| 合 計 | 720,866 | 248,450 | — | — |

2. 鯖延繩漁業

漁期は前年より幾分短く、昨年は夏期7、8月においても漁獲ありしも本年同期は皆無なりき。出漁船数も前年に比し約10隻を減じ漁獲高前年の約4分の1に過ぎず甚だしく振はず。

| 月別 | 漁獲数量 | 同金額 | 出漁船数 | 漁場 |
|-------|--------|-------|------|-------------|
| 昭和11年 | | | | |
| 11月 | 300尾 | 120圓 | 14隻 | 寧海 |
| 12月 | 283 | 82 | 5 | 丑山、寧海 |
| 昭和12年 | | | | |
| 1月 | 271 | | 2 | 江口、丑山 |
| 2月 | 2,483 | 1,146 | 19 | 丑山、寧海、浦項 |
| 3月 | 2,667 | 728 | 52 | 陽南、曲江、江口、浦項 |
| 4月 | 3,383 | 704 | 30 | 陽南、曲江、寧海、江口 |
| 5月 | 3,138 | 607 | 14 | 陽南、甘浦、曲江 |
| 6月 | 564 | 92 | 4 | 曲江 |
| 合計 | 13,089 | 4,313 | — | — |

四、マイワシ 昭和12年(1~12月)中の漁獲高379,620樽(765,268圓)にして、前年(昭和11年)中の649,402樽(1,438,469圓)に比すれば269,782樽(673,201圓)の減なれど、1昨年(昭和10年)と比較すれば大差なし。即ち前年は特に豊漁なりしものにして本年漁は平年並なり。

| 月別 | 漁獲数量 | 同金額 | 主要水揚地 |
|-----|----------|----------|--------------------------------|
| 1月 | 132,850樽 | 276,479圓 | 甘浦、良浦、大甫、清河、丑山、江口、盈徳 |
| 2月 | 12,241 | 24,213 | 甘浦、良浦、九龍浦、浦項、丑山、江口 |
| 3月 | 5,894 | 11,211 | 甘浦、九龍浦、浦項、丑山、江口、曲江、松羅 |
| 4月 | 20,067 | 30,627 | 甘浦、良浦、九龍浦、浦項、清河、丑山、江口、曲江、盈徳、松羅 |
| 5月 | 47,896 | 81,960 | 甘浦、大甫、浦項、丑山、江口、曲江、松羅、寧海、鬱陵島 |
| 6月 | 60,505 | 154,242 | 良浦、大甫、浦項、清河、丑山、江口、曲江、盈徳、松羅、寧海 |
| 7月 | 41,202 | 91,978 | 甘浦、良浦、浦項、清河、丑山、江口、盈徳、松羅、寧海 |
| 8月 | 507 | 1,401 | 甘浦、丑山 |
| 9月 | 9,865 | 19,725 | 大甫、丑山 |
| 12月 | 48,593 | 73,432 | 甘浦、良浦、九龍浦、浦項、清河、丑山、江口、曲江、盈徳、寧海 |
| 合計 | 379,620 | 765,268 | (太字 1萬樽以上、— 5,000樽以上) |

1. 定置網漁業

漁期前年度よりも早く昭和11年11月より本年4月までの間、途中屢々途切れたれど4月まで多少の漁あり。尚ほ7月中他の定置網にて500樽餘の漁獲を見たり。本漁期中の總漁獲高6,949樽(14,375圓)、前年度に比し好漁なり。漁場は前年度は主として浦項を中心とせりも、本年は少しく北方に移れり。操業統数1ヶ月平均28統、前年の124統に比し激減せり。

| 月別 | 漁獲数量 | 同金額 | 漁場 |
|-------|--------|--------|----------|
| 昭和11年 | | | |
| 11月 | 2,355樽 | 6,468圓 | 浦項より盈徳まで |
| 12月 | 3,620 | 5,616 | 大甫、浦項、江口 |
| 昭和12年 | | | |
| 3月 | 332 | 466 | 曲江、松羅、丑山 |
| 4月 | 132 | 550 | 清河、江口 |
| 7月 | 510 | 1,275 | 浦項 |
| 合計 | 6,949 | 14,375 | — |

2. 巾着網漁業

前年(昭和11年)12月より本年1月にかけて20萬樽以上の大漁を爲す。出漁船数47~92隻、前年に比し著しき増加なり。漁場は大甫、浦項、丑山、江口、盈徳沖合。尚ほ7月中浦項沖にて1隻従漁44樽の漁獲を爲したり。

| 月別 | 漁獲数量 | 同金額 | 船数 | 漁場 |
|-------|----------|----------|-----|----------------|
| 昭和11年 | | | | |
| 12月 | 156,942樽 | 391,605圓 | 47隻 | 大甫、浦項、丑山、江口、盈徳 |
| 昭和12年 | | | | |
| 1月 | 51,202 | 91,401 | 92 | 大甫、江口、盈徳 |
| 7月 | 44 | 111 | 1 | 浦項 |
| 合計 | 208,188 | 483,117 | — | — |

3. 流網漁業

「冬漁」。漁期は昨年と同様、前年11月末より本年3月まで、總漁獲高125,703樽(280,430圓)にて豊漁。特に12月、1月好漁、出漁船数260~335隻。

「夏漁」。4月より9月までの間、總漁獲高179,758樽(377,996圓)にして昨年より甚だしき不漁。

| (冬漁) | 漁獲数量 | 同金額 | 船数 | 漁場 |
|-------|---------|---------|-------------------|----------------|
| 昭和11年 | | | | |
| 11月 | 839樽 | 3,235圓 | 38隻 | 江口沖を中心とする漁場 |
| 12月 | 26,878 | 59,196 | 335 | 甘浦及浦項以北の沿岸 |
| 昭和12年 | | | | |
| 1月 | 81,648 | 185,078 | 259 | 甘浦、良浦、大甫、清河、丑山 |
| 2月 | 10,856 | 22,176 | 101 | 甘浦、良浦、九龍浦、丑山 |
| 3月 | 5,482 | 10,745 | 39 | 甘浦、九龍浦、江口 |
| 合計 | 125,703 | 280,430 | — | — |
| (夏漁) | 漁獲数量 | 同金額 | 漁場 | |
| 4月 | 19,937樽 | 30,076圓 | 浦項以南沖及曲江、松羅、盈徳、丑山 | |
| 5月 | 47,896 | 81,960 | 本道全沿岸、鬱陵島 | |
| 6月 | 60,505 | 154,242 | 殆ど全沿岸、鬱陵島 | |
| 7月 | 40,648 | 90,592 | 同上 | |
| 8月 | 507 | 1,401 | 甘浦、丑山 | |
| 9月 | 9,865 | 19,725 | 大甫、丑山 | |
| 合計 | 179,758 | 377,996 | — | |

五、タチウヲ 本年(1~12月)中の漁獲高2,708,320貫(527,805圓)にして前年中の1,512,509貫(324,288圓)に比較して1,195,811貫(203,517圓)の増獲さいふ豊漁。漁場は少しく擴張し、漁期は例年と大差なく盛期は昨年より1ヶ月早く月8より12月までなり。漁具は定置網、一本釣及延縄等例年通りとす。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁場 |
|-----|-----------|---------|---|
| 1月 | 1,982貫 | 403圓 | 甘浦(浦項) |
| 2月 | 2,402 | 884 | 九龍浦 |
| 6月 | 16,194 | 1,454 | (甘浦), 大甫, 浦項, (寧海) |
| 7月 | 245,456 | 21,670 | 甘浦, 良浦, 浦項, (江口), (丑山), 寧海 |
| 8月 | 307,583 | 40,687 | 陽南, 甘浦, (九龍浦), (大甫), 浦項, 江口, (丑山), 寧海, 鬱陵島 |
| 9月 | 390,511 | 60,514 | 陽南, 甘浦, (九龍浦), 大甫, 浦項, (江口), (丑山), 寧海 |
| 10月 | 702,213 | 116,481 | 陽南, 甘浦, 九龍浦, 大甫, 浦項, (曲江), 江口, (丑山), 寧海 |
| 11月 | 706,402 | 189,345 | 陽南, 甘浦, 良浦, 九龍浦, 大甫, 浦項, (曲江), 江口, 丑山, 寧海 |
| 12月 | 335,577 | 96,368 | 陽南, 甘浦, 良浦, 九龍浦, 大甫, 浦項, (清河), 江口, 丑山, 寧海, 盈徳 |
| 合計 | 2,708,320 | 527,806 | 太字 10萬貫以上 — 1萬貫以上 () 千貫未満 |

定置網漁業

漁期. 前年と同様6月より始まり終漁は1ヶ月おくれ翌年2月。漁場. 10月以降は大體例年通りなるが初漁當時は前年甘浦沖を主とせるも本年は甘浦の外浦項, 江口, 丑山, 寧海にまで及べり。

本年度漁獲高2,287,004貫(415,636圓)にして前年の1,273,229貫(235,941圓)に比し好漁。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 統數 | 漁場 |
|---------|---------|---------|-----|----------------------------|
| 6月 | 16,194貫 | 1,454圓 | 12統 | 甘浦, 浦項, 寧海 |
| 7月 | 245,456 | 21,670 | 50 | 甘浦, 良浦, 浦項, 江口, 丑山, 寧海 |
| 8月 | 288,222 | 38,204 | 44 | 甘浦, 浦項, 江口, 丑山, 寧海 |
| 9月 | 332,247 | 49,179 | 49 | 甘浦, 大甫, 浦項, 寧海 |
| 10月 | 648,563 | 102,906 | 42 | 甘浦, 浦項, 江口, 丑山, 寧海 |
| 11月 | 516,837 | 135,119 | 61 | 甘浦, 良浦, 丑山, 寧海, 浦項 |
| 12月 | 234,174 | 65,516 | 81 | 甘浦, 江口, 丑山, 盈徳, 寧海, 清河, 浦項 |
| 昭和13年1月 | 4,479 | 1,452 | 4 | 甘浦 |
| 2月 | 832 | 135 | 1 | 甘浦 |

六、イカ 當年中の漁獲高10,031貫(5,107圓), 前年中の26,726貫(15,444圓)に比し16,695

貫(10,327圓)の減。漁期. 前年より少しく短縮且つ漁獲繼續, 漁場亦縮少せり。浦項の大謀網(約17統), 清河の落網(9統), 丑山の定置網(1統)及び鬱陵島の1本釣(50隻)のみにして漁具は前年と大差なし。漁場の縮少と魚群の回游少く前年よりも著しき減獲なり。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁場 | 漁具 | 統數 |
|-----|--------|-------|-----|-----|-------|
| 2月 | 120貫 | 48圓 | 清河 | 落網 | (9統) |
| 4月 | 2,584 | 1,034 | " | " | " |
| 6月 | 306 | 246 | 浦項 | 大謀網 | (7統) |
| 7月 | 1,196 | 1,315 | " | " | (17統) |
| 8月 | 212 | 285 | " | " | " |
| " | 4,608 | 1,308 | 鬱陵島 | 1本釣 | (50隻) |
| 9月 | 159 | 175 | 浦項 | 大謀網 | (17統) |
| " | 360 | 100 | 鬱陵島 | 1本釣 | (50隻) |
| 10月 | 298 | 387 | 浦項 | 大謀網 | (17統) |
| 12月 | 175 | 200 | 清河 | 落網 | (9統) |
| " | 13 | 9 | 丑山 | 定置網 | (1統) |
| 合計 | 10,031 | 5,107 | — | | |

七、ブリ 漁期. 大體前年度と同じく4月より翌年1月迄なるも, 盛漁期は前年度の7月より12月なりしに比し甚だしく短く10月より12月までなりき。

漁具. 例年通り定置網によるを主とし其の他は漕釣により又巾着網に混獲せられたるものあるも極めて僅少なり。

本漁期中に漁獲せられたるもの93,168貫(184,415圓)にして數量は略々前年通りなるも, 魚價高値のため金額においては稍々増加せり。

漁場. 前年度は甘浦, 浦項, 大甫, 良浦, 江口, 曲江, 寧海及び鬱陵島なりしも, 本年は甘浦, 浦項及び良浦を除き漁獲減少せるは魚群の局部的に群來せるものと思はる。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁場(漁具及統數) |
|---------|--------|---------|---|
| 4月 | 330貫 | 126圓 | 良浦(壺網5), (曲江) |
| 5月 | 427 | 889 | 浦項(壺網70), (甘浦, 壺網2) |
| 6月 | 693 | 446 | 良浦(壺網5), 浦項, 大敷7), (甘浦, 壺網1) |
| 7月 | 2,023 | 1,421 | 浦項(大敷17, 鯖流11), 良浦(壺網3), (甘浦, 大敷2) |
| 8月 | 1,706 | 2,123 | 甘浦(大敷5), 浦項(大敷17, 流23) |
| 9月 | 2,173 | 2,521 | 甘浦(大敷7, 壺網1), 浦項(大敷17, 流7) |
| 10月 | 3,272 | 3,786 | 甘浦(大敷6, 巾着1), 浦項(大敷17), (寧海, 壺網7) |
| 11月 | 27,192 | 31,009 | 甘浦(大敷5, 壺網3), 良浦(定置8), 浦項(大敷23), 鬱陵島(漕釣3) |
| 12月 | 55,197 | 142,320 | 甘浦(大敷5, 壺釣17), 良浦(大敷6), 浦項(大敷17, 罾落網90) |
| 昭和13年1月 | 110 | 274 | 甘浦(大敷4, 壺網3) |
| 合計 | 93,168 | 184,415 | — |

八、カレヒ 漁期。前年同様周年漁獲せらる。漁場。例年さ大差なし。漁具。例年通り冬季間は主として機船底曳網(20隻)に混獲せられ、その他の期間は帆船手繰網、打瀬網、壺網等に依る。

漁獲高。本年度は72,556貫(38,189圓)にして前年度の90,996貫(49,409圓)に比し減獲なりしは機船底曳網による漁獲の少なかりしに因る。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁場(漁具並同統數) |
|-----|--------|--------|---|
| 1月 | 6,883貫 | 3,600圓 | 浦項(底曳17), 九龍浦(底曳1), 清河(落網9, 底曳1), 甘浦(底曳8), 其他(落網9, 底曳1) |
| 2月 | 2,185 | 880 | 清河(刺網4), 甘浦(底曳8), 其他(底曳3, 罾定置4) |
| 3月 | 4,368 | 1,960 | 九龍浦(底曳1, 1本釣2), 甘浦, 其他(底曳2, 延繩10) |
| 4月 | 11,456 | 6,586 | 浦項(底曳11), 甘浦(底曳8), 其他(延繩11等) |
| 5月 | 2,550 | 2,308 | 浦項(壺網70, 帆船手繰39), 其他(帆船手繰14) |
| 6月 | 5,414 | 5,691 | 浦項(帆船手繰43), 其他 |
| 7月 | 530 | 714 | 浦項(壺網16, 帆船手繰43) |
| 8月 | 1,403 | 1,544 | 浦項(帆船手繰25, 壺網16, 地曳8) |
| 9月 | 3,561 | 2,194 | 甘浦(底曳8), 浦項(地曳7, 底曳11, 帆船手繰34, 壺網15) |
| 10月 | 14,010 | 4,757 | 甘浦(底曳8), 九龍浦(底曳2), 浦項(底曳10, 帆船手繰22, 打瀬15, 壺網15) |
| 11月 | 12,446 | 4,038 | 甘浦(底曳8), 浦項(底曳10, 帆船手繰22, 打瀬15, 壺網10), 九龍浦(1本釣12) |
| 12月 | 7,750 | 3,918 | 九龍浦(底曳2, 1本釣3), 其他 |
| 合計 | 72,556 | 38,189 | 備考: 大字は水揚千貫以上 |

九、ヒラメ 漁期。例年通り周年漁獲せらる。盛漁期は4~7月及び10~12月。漁場。前年同様沿岸各地において漁獲せらるるも主流場は少しく北方に移動し江口、丑山、浦項、甘浦なり。漁具。打瀬網、定置網、機船底曳網、帆船手繰等。

漁獲高。本年中總漁獲高49,505貫(62,820圓)にして前年に比し數量稍々減少せるも魚價高値のため金額においては増加せり。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁具, 漁船並同統數 |
|-----|--------|--------|--------------------------------|
| 1月 | 487貫 | 1,582圓 | 打瀬15, 落網3 |
| 2月 | 1,295 | 2,111 | 打瀬2 |
| 3月 | 1,072 | 1,604 | 打瀬12, 帆船手繰40, 延繩23 |
| 4月 | 3,209 | 4,541 | 打瀬20, 底曳11, 帆船手繰20, 延繩16 |
| 5月 | 11,881 | 17,357 | 定置83, 打瀬15, 帆船手繰48 |
| 6月 | 5,105 | 5,400 | 定置24, 帆船手繰48 |
| 7月 | 3,066 | 3,900 | 壺網40, 帆船手繰43 |
| 8月 | 1,072 | 1,503 | 大敷17, 壺網16, 帆船手繰25, 1本釣10 |
| 9月 | 2,048 | 1,225 | 定置37, 延繩8, 帆船手繰34 |
| 10月 | 3,570 | 4,591 | 打瀬5, 定置57, 帆船手繰39, 底曳11 |
| 11月 | 10,779 | 9,442 | 打瀬133, 定置57, 底曳11, 延繩55 |
| 12月 | 5,561 | 9,563 | 帆船手繰40, 定置28, 延繩26, 底曳12, 打瀬28 |
| 合計 | 49,505 | 62,820 | |

十、アナゴ 漁期。夏6, 7, 8月を除き殆ど周年漁獲を見, 9, 10, 11月を盛漁期とす。漁場。甘浦, 九龍浦, 浦項沿海。漁具。延繩, 出漁船數盛期には25~45隻。

本年(1~12月)漁獲高30,549貫(17,035圓), 前年の32,865貫(21,559圓)に比し稍々減じたるは出漁船數の少なかりしに因るものなるべし。

| 月別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁場(出漁船數) |
|-----|--------|--------|-------------------|
| 1月 | 1,339貫 | 845圓 | 甘浦(延繩5) |
| 2月 | 2,341 | 531 | 甘浦, 九龍浦(延繩10) |
| 3月 | 6,043 | 3,860 | (.. 15) |
| 4月 | 1,602 | 846 | (.. 15) |
| 5月 | 178 | 84 | (.. 6) |
| 9月 | 4,766 | 3,068 | 甘浦, 九龍浦, 浦項(延繩25) |
| 10月 | 8,476 | 4,652 | (.. 46) |
| 11月 | 5,120 | 2,735 | (.. 25) |
| 12月 | 684 | 414 | (.. 15) |
| 合計 | 30,549 | 17,035 | — |

十一、タコ 本年(1~12月)の漁獲高24,590貫(11,039圓), 前年の70,385貫(25,194圓)に比し甚だしき減獲なるが大體平年並の漁なり。前年に比し減獲なりしは機船底曳網による混獲の少なかりしと夏期間の帆船手繰, 空釣, 延繩, 一本釣等による漁の不振なりしによる。漁場は前年に比し北方に少なかりしが, 本年は例年になく鬱陵島において11~12月一本釣により漁獲を見たり。漁期は例年に變りなし。機船底曳網による混獲, 帆船手繰, 空釣, 延繩, 一本釣の外若干の錯突漁あり。

| 漁場 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁期 |
|----|---------|--------|-----------------|
| 浦項 | 11,040貫 | 6,503圓 | 1月, 4~9月, 11月 |
| 甘浦 | 7,824 | 2,543 | 1~2月, 9~12月 |
| 大浦 | 2,061 | 776 | 1~3月, 12月 |
| 寧海 | 1,145 | 267 | 1~2月 |
| 其他 | 2,520 | 951 | 1月, 3~6月, 9~12月 |
| 合計 | 24,590 | 11,039 | — |

十二、アブラメ 殆ど周年漁獲あるも3~4月頃最も多し。延繩, 一本釣を主とし沿海各地にて漁業行はる。本年漁獲高は7,527貫(8,985圓), 前年の20,775貫(21,712圓)に比し甚だしき不漁。

十三、カニ

機船底曳網(8~20隻)。10月~翌年4月 甘浦, 浦項沖

刺網(7~9隻)。1~4月 江口, 丑山, 寧海, 清河沖。

帆船手繰網(43隻)。6~9月 浦項沖。

本年(1~12月)中の總漁獲高20,512貫(12,558圓), 前年と略々等しきも魚價は幾分低目なり。

十四, エビ 漁場, 漁期も例年通りにして甘浦, 浦項を根據とする機船底曳網により9月より4月までの間, タラに混獲せらる。

出漁船数18~20隻(2月, 3月は8隻), 本年度漁期(昭和11年9月より本年4月まで)中の總漁獲高55,116貫(65,363圓), 前年度の67,006貫(58,159圓)に比し数量11,890貫の減なれど魚價高値の爲金額においては7,204圓の増なり。

慶尙南道

マイワシは例年になき豊漁を見たるも其他の魚族, サバ, アヂ, サハラ, ハモ, グチ, タチウヲ, アナゴ, ヒラメは普通漁, カタクチイワシ, タラは不漁に終る。

各種につき各漁業組合別漁獲状況を掲記すれば次の如し。

一, マイワシ(大羽鱈)

| 漁業組合別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁期 | 主漁場 | 前年との比較 |
|-------|-----------|---------|------|-------|---------------------------|
| 方魚津 | 257,463貫 | 51,493圓 | 1~5月 | 近海 | 不 955,983貫 減 47,500圓 |
| 長生浦 | 722,100 | 48,460 | 1~7月 | " | 豊 424,897貫 増 28,842圓 |
| 西生 | 126,028 | 9,633 | 1~6月 | " | " 115,869貫 増 5,616圓 |
| 溫山 | 709,784 | 57,609 | 2~4月 | " | " 527,780貫 増 27,865圓 |
| 釜山 | 88,622 | 15,846 | 周年 | " | " 73,422貫 増 12,765圓 |
| 長承浦 | 186,109 | 14,222 | 3~8月 | " | " 未詳 |
| 熊川 | 233 | 35 | 5~6月 | 灣内 | " 未詳 |
| 巨濟 | 3,000,000 | 200,000 | 3~8月 | 近海 | " 2669,000貫 増 102,000圓 |
| 山陽面 | 78,025 | 50,000 | 3~6月 | 欲知島沖合 | " 347,000貫 増 39,250圓 |
| 鎮海 | 14,700 | 1,600 | 5~7月 | 組合地先 | " 未詳 |
| 閑山面 | 25,396 | 45,075 | 5~6月 | " | " 19,996貫 増 42,974圓 |
| 計 | 5,208,440 | 493,973 | | | |

二, カタクチイワシ(鯨, ひしこいわし)

| | | | | | |
|-----|---------|---------|-------|------|------------------------|
| 方魚津 | 12,708貫 | 18,127圓 | 4~12月 | 組合地先 | 不 4,373貫 減 22,787圓 |
| 長生浦 | 64,500 | 98,500 | 5~12月 | " | 豊 36,791貫 増 44,406圓 |
| 西生 | 11,708 | 26,855 | 6~12月 | " | " 282貫 増 482圓 |

| 漁業組合別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁期 | 主漁場 | 前年との比較 |
|-------|-----------|-----------|-----------|----------------|-------------------------|
| 溫山 | 5,048貫 | 7,379圓 | 5~12月 | 組合地先 | 不 5,238貫 減 9,767圓 |
| 釜山 | 11,200 | 25,800 | " | " | " 未詳 |
| 巨濟 | 170,000 | 119,000 | " | " | " 20,000貫 減 54,000圓 |
| 廣島組合 | 494,073 | 589,632 | 周年 | 鎮海灣内一圓 | " 87,637貫 減 210,442圓 |
| 山陽面 | 31,910 | 38,000 | 6~12月 | 山陽面沖合 欲知島沖合 | " 311,000貫 減 70,400圓 |
| 鎮東 | 41,700 | 43,266 | " | 組合地先 | " 7,100貫 減 2,869圓 |
| 加助 | 18,500 | 29,640 | 7~11月 | " | " 未詳 |
| 固城灣 | 2,900 | 3,295 | 5~7月 | " | " 未詳 |
| 泗川灣 | 1,320 | 255 | 4,5,9,10月 | " | " 未詳 |
| 南海灣 | 252,950 | 23,800 | 4~10月 | " | 豊 157,450貫 増 16,100圓 |
| 計 | 1,118,517 | 1,023,549 | | | |

三, タラ

| | | | | | |
|------|---------|---------|-------|--------------|-------------------------|
| 方魚津 | 72,565貫 | 59,923圓 | 12~4月 | 蔚崎燈臺 東15湊 | 不 155,185貫 減 10,717圓 |
| 釜山 | 10,409 | 6,500 | 12~2月 | 釜山近海 | 豊 7,109貫 増 5,928圓 |
| 巨濟 | 50,000 | 26,000 | 11~2月 | 本島沿岸 | 不 143,000貫 減 31,000圓 |
| 鎮海灣網 | 238,830 | 116,962 | 12~1月 | 鎮海灣内 | " 140,000貫 減 30,478圓 |
| 鎮東 | 1,060 | 689 | 12~1月 | " | " 1,200貫 減 1,581圓 |
| 加助 | 150,000 | 60,000 | 12~1月 | 組合地先 | " 80,000貫 減 9,000圓 |
| 固城灣 | 23,000 | 15,000 | 11~1月 | " | " 未詳 |
| 蛇梁島 | 9,250 | 4,156 | 1月 | " | " 9,600貫 減 3,844圓 |
| 閑山面 | 3,062 | 982 | 12~2月 | " | " 未詳 |
| 南海灣 | 88,600 | 5,955 | 12~1月 | " | 豊 72,000貫 増 2,500圓 |
| 計 | 646,776 | 294,168 | | | |

四, サバ

| | | | | | |
|-----|---------|---------|-------|-----|------------------------|
| 方魚津 | 7,735貫 | 7,478圓 | 12~7月 | 東海岸 | 不 2,417貫 減 509圓 |
| 西生 | 8,886 | 2,500 | 4~6月 | " | " 2,364貫 減 250圓 |
| 釜山 | 256,113 | 199,938 | 周年 | 近海 | 豊 74,513貫 増 74,916圓 |
| 長承浦 | 5,159 | 1,634 | 6~11月 | " | 不 未詳 |
| 巨濟 | 1,700 | 500 | 6~8月 | " | " 8,300貫 減 3,500圓 |
| 計 | 279,593 | 212,050 | | | |

五, アヂ

| | | | | | |
|-----|---------|---------|------|----|------------------------|
| 方魚津 | 99貫 | 81圓 | 3,8月 | 近海 | 不 345貫 減 331圓 |
| 釜山 | 120,362 | 146,416 | 周年 | " | 豊 36,662貫 増 62,816圓 |

| 漁業組合別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁期 | 主漁場 | 前年との比較 | |
|---------------|-----------|---------|--------|------|--------|----------------------|
| 長承浦 | 15,732貫 | 6,511圓 | 7~12月 | 近海 | 不 | 未詳 |
| 巨濟 | 1,700 | 500 | 6~9月 | " | " | 8,300貫減 3,500圓 |
| 計 | 137,893 | 153,508 | | | | |
| 六、サハラ | | | | | | |
| 西生 | 477貫 | 837圓 | 9~12月 | 近海 | " | 269貫減 293圓 |
| 釜山 | 49,199 | 116,030 | 周年 | " | " | 31,012貫減 65,150圓 |
| 長承浦 | 4,154 | 12,680 | " | " | 普通 | 未詳 |
| 鎮東 | 11,650 | 19,980 | 5~9月 | 灣内 | 不 | 6,450貫減 1,740圓 |
| 加助 | 2,100 | 2,090 | 8~10月 | " | " | 未詳 |
| 固城灣 | 970 | 1,490 | 4~11月 | " | " | 未詳 |
| 閑山面 | 39 | 77 | 7~9月 | 組合地先 | " | 未詳 |
| 南海灣 | 1,100 | 1,504 | 6~11月 | 近海 | 豊 | 320貫増 546圓 |
| 計 | 69,691 | 154,688 | | | | |
| 七、タチウヲ | | | | | | |
| 方魚津 | 94,107貫 | 77,642圓 | 8~12月 | 近海 | 不 | 105,893貫減 63,960圓 |
| 長生浦 | 3,500 | 6,500 | 8~12月 | " | " | 55,419貫減 14,485圓 |
| 西生 | 14,433 | 6,092 | 8~12月 | " | " | 19,553貫減 8,526圓 |
| 温山 | 34,287 | 14,398 | 9~11月 | " | " | 24,713貫減 15,103圓 |
| 釜山 | 24,308 | 67,765 | 周年 | " | 豊 | 207,308貫増 52,045圓 |
| 長承浦 | 22,953 | 7,253 | 8~12月 | " | " | 未詳 |
| 熊川 | 220 | 50 | 5~6月 | 組合地先 | 不 | 未詳 |
| 巨濟 | 65,000 | 26,000 | 5~9月 | 近海 | 豊 | 3,000貫増 1,000圓 |
| 山陽面 | 380,000 | 56,300 | 8~11月 | " | " | 未詳 |
| 鎮東 | 42,650 | 16,180 | 4~10月 | 組合地先 | " | 6,050貫増 2,040圓 |
| 鎮海 | 850 | 850 | 8~10月 | " | 不 | 未詳 |
| 加助 | 7,700 | 2,700 | 7~11月 | " | " | 2,100貫減 170圓 |
| 固城灣 | 72,000 | 17,350 | 4~11月 | " | " | 未詳 |
| 蛇梁島 | 73,000 | 1,896 | 10~11月 | " | 豊 | 57,900貫増 646圓 |
| 泗川灣 | 2,850 | 593 | 4~11月 | " | 普通 | 未詳 |
| 閑山面 | 14,047 | 982 | 5~12月 | " | " | 未詳 |
| 南海灣 | 122,900 | 14,529 | 5~11月 | " | 豊 | 75,080貫増 10,211圓 |
| 計 | 1,185,755 | 341,379 | | | | |
| 八、アナゴ | | | | | | |
| 方魚津 | 5,378貫 | 3,015圓 | 周年 | 近海 | 不 | 2,360貫減 878圓 |
| 西生 | 10,775 | 6,369 | " | " | 豊 | 3,892貫増 2,908圓 |

| 漁業組合別 | 漁獲數量 | 同金額 | 漁期 | 主漁場 | 前年との比較 | |
|--------------|---------|---------|------------|------|--------|---------------------|
| 温山 | 491貫 | 295圓 | 2~4月 | 組合地先 | 普通 | 未詳 |
| 釜山 | 52,402 | 43,047 | 周年 | 近海 | 豊 | 40,893貫増 33,280圓 |
| 長承浦 | 48,169 | 25,196 | " | " | " | 未詳 |
| 熊川 | 8,517 | 4,310 | " | " | 不 | 4,593貫減 2,059圓 |
| 巨濟 | 66,000 | 40,000 | " | " | " | 60,000貫減 23,000圓 |
| 山陽面 | 110,895 | 58,844 | " | " | 豊 | 61,000貫増 29,624圓 |
| 鎮東 | 20,950 | 12,570 | 1~9月 | 灣内 | 不 | 150貫減 965圓 |
| 鎮海 | 11,810 | 7,100 | 5~11月 | 組合地先 | " | 未詳 |
| 加助 | 32,353 | 18,332 | 4~12月 | " | " | " |
| 固城灣 | 7,719 | 5,457 | 1~6月 | " | 豊 | " |
| 蛇梁島 | 36,954 | 21,239 | 周年 | " | " | 3,430貫増 1,238圓 |
| 泗川灣 | 980 | 738 | " | " | " | 未詳 |
| 閑山面 | 26,820 | 14,432 | " | " | 普通 | 未詳 |
| 南海灣 | 23,824 | 15,271 | 4~12月 | " | 豊 | 1,059貫増 954圓 |
| 計 | 464,037 | 276,215 | | | | |
| 九、ブリ | | | | | | |
| 西生 | 48貫 | 65圓 | 8~11月 | 組合地先 | 豊 | 26貫増 30圓 |
| 釜山 | 63,487 | 111,675 | 周年 | 近海 | " | 26,739貫増 55,425圓 |
| 計 | 63,535 | 111,740 | | | | |
| 十、ヒラメ | | | | | | |
| 方魚津 | 10,395貫 | 17,769圓 | 4*5,10,11月 | 近海 | 不 | 9,868貫減 9,265圓 |
| 西生 | 7,265 | 13,745 | 10~12月 | " | 豊 | 4,814貫増 9,546圓 |
| 釜山 | 38,281 | 75,294 | 周年 | " | " | 24,947貫増 55,208圓 |
| 長承浦 | 9,398 | 12,635 | 5~11月 | " | " | 未詳 |
| 熊川 | 2,606 | 2,070 | 周年 | " | 不 | 未詳 |
| 山陽面 | 4,000 | 3,700 | 4~12月 | " | 豊 | 1,450貫増 1,660圓 |
| 鎮東 | 14,550 | 13,817 | 4~9月 | " | 不 | 1,250貫減 30,673圓 |
| 加助 | 12,000 | 2,810 | 8~10月 | 組合地先 | 豊 | 1,000貫増 590圓 |
| 固城灣 | 1,500 | 1,240 | 5~10月 | " | 普通 | 未詳 |
| 泗川灣 | 2,670 | 1,259 | 5~12月 | " | " | 未詳 |
| 閑山面 | 102 | 151 | 1~10月 | " | " | 未詳 |
| 巨濟 | 1,500 | 1,500 | 6~12月 | " | 不 | 500貫減 500圓 |
| 計 | 104,267 | 145,990 | | | | |

十一、ハモ

| 漁業組合別 | 漁獲数量 | 同金額 | 漁期 | 主流場 | 前年との比較 |
|-------|---------|---------|-------|------|----------------------|
| 熊川 | 5,431貫 | 4,788圓 | 5~9月 | 近海 | 不詳 |
| 巨濟 | 60,000 | 30,000 | 5~9月 | " | 240,000貫減 72,000圓 |
| 山陽面 | 49,392 | 36,454 | 4~11月 | " | 72,000圓増 |
| 鎮東 | 5,350 | 2,675 | 5~7月 | " | 1,070貫増 125圓 |
| 鎮海 | 4,365 | 4,250 | 5~9月 | 組合地先 | 不詳 |
| 固城灣 | 29,400 | 21,062 | 5~10月 | 近海 | 普通未詳 |
| 蛇梁島 | 13,793 | 10,040 | 5~10月 | " | 314貫減 300圓 |
| 南海灣 | 13,364 | 9,282 | 5~10月 | " | 3,268貫減 1,862圓 |
| 釜山 | 8,521 | 6,697 | 5~10月 | " | 2,107貫増 280圓 |
| 計 | 189,616 | 125,248 | | | |

十二、グチ

| | | | | | | |
|-----|---------|---------|-------|----|----|---------------------|
| 釜山 | 82,778貫 | 53,172圓 | 周年 | 近海 | 豊 | 58,826貫増 37,092圓 |
| 巨濟 | 14,000 | 12,000 | " | " | 不 | |
| 山陽面 | 130,870 | 52,000 | 6~11月 | " | " | 25,130貫減 19,050圓 |
| 鎮東 | 6,300 | 5,469 | 6~11月 | " | " | 1,000貫減 731圓 |
| 固城灣 | 2,790 | 1,955 | 5~8月 | " | " | 未詳 |
| 泗川灣 | 500 | 455 | 8~10月 | " | 普通 | |
| 閑山面 | 16,011 | 7,952 | 6~12月 | " | " | |
| 南海面 | 6,960 | 2,095 | 6~9月 | " | 豊 | 1,800貫増 788圓 |
| 計 | 260,209 | 135,099 | | | | |

全羅南道

一、サバ、アヂ (機船巾着網漁業)

| 月別 | 主流場 | 従漁船數 | 漁獲高 | | | 摘要 | |
|-----|-----------|------|-----------|---------|-----------|---------|---|
| | | | (サバ) | (アヂ) | | | |
| 6月 | 巨文島、青山島方面 | 約70 | 5,000,000 | 175,000 | 2,400,000 | 108,000 | うち嵎島近海アヂ、サバ合計3,000,000尾 120,000圓の漁獲にて同附近稀なる豊漁 |
| 7月 | 同上 | " | 2,000,000 | 69,400 | 5,500,000 | 220,000 | |
| 8月 | 楸子島、大黒山島 | 60 | 900,000 | 31,500 | 7,000,000 | 301,000 | 飛揚島方面にも数組の漁船出漁せり |
| 9月 | 同上 | " | 550,000 | 18,000 | 6,000,000 | 260,000 | うち青山島、巨文島方面にてアヂ、アバ混合にて2,000,000尾 80,000圓の漁獲あり |
| 10月 | 同上 | 50 | — | — | 4,000,000 | 200,000 | サバ漁獲殆どなし |
| 11月 | — | — | — | — | — | — | 本月に入り漁船全部東海岸に移動す |

本年は鯖巾着網水産組合の申合せにより操業を6月1日より開始したるが、漁獲高は例年より多く約2~3割の増獲なりき。尚ほ本年は魚群(カチ)の大なりしこみの特徴を呈す。

特異漁況も稱すべきは嵎島近海の豊漁なりしこみ、大黒山島附近の大不漁なりしこみ及び青山島附近において10月まで相當の漁獲ありしこみ等なり。殊に青山島の内側(北部)莞島にかけての内灣において漁獲ありしこみは近年になきこみなりき。

鯖流網漁業は近年稀なる豊漁にして嵎島近海より大黒山島にかけ9月末まで操業せり。

二、グチ (鮫鱈網漁業)

1月. 漁船約200隻、大黒山島、巨次島方面に出漁し1隻當500圓乃至700圓の漁獲あり。

2月. 上旬漁船約200隻、大黒山島、巨次島方面に出漁し1隻當850圓~150圓の漁獲。1尾2錢2厘位。下旬は荒天連続し殆ど休漁の状態。

3月. 漁船約300隻、小黒山島、紅島方面に出漁し1隻當1,000圓~100圓の漁獲。1尾2錢5厘位。

4月. 上旬下苦島より飛雄島にかけ約400隻出漁。1隻當600圓~50圓位。1尾2錢位。小黒山島北にて約3萬尾を漁獲したる船2~3隻あり。下旬漁船漸次北上し嵎島附近約250隻操業したるが1隻平均50圓(中數隻は3,000圓の漁獲ありしも不良のものは15圓にすぎず)頗る不漁。大黒山島附近は魚體小、飛雄島附近は大。

5月. 嵎島不漁のため大部分の漁船は延平島漁場に向ひたるが、嵎島に残留せる小漁船約100隻は5月に入り好漁にして1網5~6,000尾の漁獲あり。魚は放卵直前の大型のものにして1隻當300~500圓の漁獲を爲す。

6~7月. 鞍馬島より大臺耳島、飛禽島にかけて操業、グチは僅少。

8~9月. 本年はクラゲの発生頗る多く鮫鱈網の操業を不能ならしめ、従つて本月は殆ど休漁の状態なりき。

10月. 屏風島、莞島方面約80隻、1隻當30圓位。七發島より每勿島にかけ1隻25,000尾の好漁を見たるが出漁船は少数なりき。

11月. 七發島より每勿島にかけ約200隻出漁したるが時化のため操業不能の日多く、1隻當7圓乃至250圓位。グチ1尾5錢。クラゲ相變らず多し。

12月. 初旬巨次島、大黒山島方面約200隻、1隻當20圓~100圓。1尾3錢位。中旬同じく1隻當100圓~300圓。1尾10錢。12月18日暴風襲來し漁具を流失したる船10數隻に上る。

[摘要] 本年グチ漁況は頗る不振に経過す。延平島並に平北漁場の稀れなる不漁を、夏季クラ

が夥しくして操業を不可能ならしめたるため当業者の困惑甚だしきものあり。

三、其他

鯨は大黒山島根約60頭、濟州島根約60頭にして好漁。カタクチイワシ、楸子島、黒山島方面の焚寄網は不漁、巨文島の巾着網は相當の漁あり。

濟州島方面に夏季マイワシ多く見られ、山地港内において投網にて漁獲せらるるの珍現象を呈したり。大エビ(カウライエビ)の漁獲は近年衰退の一路を辿りしが、本年は珍らしく沿岸一帯好漁を見たり。

全羅北道

一、エヒ(鱈) エヒを主としたる延縄漁業は前年12月上旬漁期に入る。漁場は近年大青島西南方乃至西方30哩乃至40哩の沖合を主とするやうになれり。従業船年々増加して帆船は殆ど皆無くなり、なほ船型、機關馬力も増大し來たる。本漁業は本道唯一の冬期漁業たるのみならず動力付漁船さしても唯一の沖合漁業なり。

群山および於青島を根據地としたる帆船は若干數に過ぎず。初漁期(12月中)格列飛島沖合に出漁し成績良好なるものありしも一般に魚群稀薄、且つ大連方面より大型手繰船多數集來したり操業意の如くならず。於青島沖亦不漁なりき。

1月に入り漁況好轉し當月中1,000圓以上の水揚をなせるものあり。2月には天候に恵まれ各船さにも2航海従業し一般に良好。3月は於青島沖合80乃至100哩の地點に出漁せる船も多く、大體2航海従業したるが1航海にささまるものも4~5隻あり。漁況は著しく不振にして上旬の潮は最高473圓、不良なるは100圓以下のものあり。4月さなりては他の漁業も漁期に入り次第に他の漁業に轉業したるが、残りの漁船も5月中旬頃全部同漁業を切りあげ他の漁業に轉業す。併し小型帆船はフカを目的として7月頃まで操業せり。

本漁期を通じ優位のもの5,000圓以上の水揚ありしも、不漁のものありて平均1隻3,500圓内外さす。魚價相場は比較的よろしき方。

二、イヒダコ 3月15日群山に初荷入る。前年に比し約10日早し。漁場は開也島、莫蒼島方面にて漁況も順調に進展し群山への陸揚2,000圓以上。相場は石油罐1個に付平均3圓50錢位。普通漁船にて1隻10~20圓、例年に較べ豊漁。4月中旬頃終漁。

三、シラウヲ 漁場、例年の如く加乃島附近より上流益山郡羅浦方面に互る。4月中旬頃より上流方面にて漁あり、同中旬頃100耗以上の豪雨あり河川は洪水程度の出水を見たるため漁況

も懸念せられたるが、上流は漁獲皆無くなりしも群山附近より入耳島地先にかけて異常の漁況を示し、4月17~18日頃毎日1萬貫以上の水揚あり。斯くの如きは近來稀有のこさなりき。同下旬に入り27日まで日に1,000貫以下に低下したるが、28日頃再び活況を呈し毎日1,000貫以上の水揚繼續し、5月3, 4, 5, 6の4日は日々2,000貫以上に及びたり。その後急速に漁獲減少し5月13日終漁す。

従業船は160~200隻内外、相場は當初10貫に付7圓50錢位なりしも盛期には1圓50錢位に低下せり。

四、カウライエビ 5月初旬群山に初漁の入荷あり。漁場は扶安郡沿岸より飛鷹島、開也島方面。従業船はエビ刺網漁船にて70隻位。錦江口附近にては一般に不振、扶安郡界火島方面にては一時好漁を見たるも暫くの間過ぎず。古群山末島附近にては例年4月下旬頃小型鮫網漁船に幾分宛の漁獲を見たるも本年は特に不振なりき。5月中1隻當水揚高は錦江方面にては100圓乃至80圓位、相場は1尾4錢~3錢5厘。

秋、9月下旬より10月中旬にかけて小型鮫網漁船約20隻、竹島水道方面に従業し毎日各船50~100尾の漁獲あり。漁獲物は雌蝦は少く殆ど雄、相場は1尾2錢位、例年に比し不振。

五、タヒ 5月中旬頃末島より十二東波島方面に互つて延縄漁船50隻位(内7~8隻は動力附)出漁、6月に入り漁場漸次北に移動し忠南沿岸に互り、従業船は前月より幾分減少せり。春漁は年々不振なる傾向あり、本年亦著しく不漁にして陸揚は例年の半額に過ぎず。6月下旬春漁を終る。

7月中旬より古群山、十二東波島、稷島方面において瀬付一本釣又は延縄漁船の従漁を見る。前年同月に比し2割方の不漁なりしも魚價相場高の爲金額においては若干の増加さなる。10貫に付60圓乃至40圓。

8月、漁場、従業船も前月に大差なく、漁況亦前月同様不振なりしも金額においては前年さ變りなし。この月中群山販賣所の陸揚高4,000圓位。

9月、漁況活氣を呈し、優良漁を爲せるは小型一本釣漁船にても300圓、動力附漁船600圓~700圓位の水揚を爲せるあり豊漁。相場は前月さ大差なく平均10貫當70圓位。

10月、稷島、外煙島、旺島方面にて動力附漁船15隻乃至10隻位従漁。一本釣又は延縄船は例年に比し幾分良好。相場は著しく高値を見たり。大體10月末頃を以て本年のタヒ漁終了す。

六、ヒラメ 漁場、竹島、煙島近海。小型手繰船並に空釣延縄船なほ100隻~200隻従漁。漁期例年さ大差なく4月下旬より漁事あり、以來不漁のまま時期を經過す。その後於青島附近にお

いて一本釣なごにて多少の漁獲を見たるが格別のこさなく、近年稀有の不漁なりき。相場10貫3圓50錢~5圓。

七、甲イカ 5月上旬より従業船あり。開也島、莫養島方面にて柴漬漁船60隻~40隻。同中旬頃より著しく活況を呈し、引續き6月に入り従業船稍々増加して70隻~50隻位、前月同様好漁、同下旬に至つて終漁す。漁期を通じて豊漁なりき。群山5月中1尾15錢~5錢前年より好く、6月7錢~4錢、群山陸揚2,600疋、金額6,000圓、沖渡し處理せられたるもの亦相當數量あり。

八、グチ 鮫鱈網漁船5月上旬高敞郡沖合より次第に北上して、黒山島、煙島附近において150隻内外従漁。同中旬一時活況を呈したるも間もなく不振なる。延平島方面に移動せる漁船多く従漁船數急減す。一般に平年漁以下。

高敞郡の錠船刺網。従業船前年よりも少く、漁況不振にて之れ亦平年漁以下。

古群山列島の柱木網。大暴風の被害により漁獲なく、扶安郡の魚箭亦不漁。魚價1尾4錢乃至1錢位、例年さ大差なし。

9月に入り煙島、古群山末島沖合にて小型船延繩及び一本釣漁船40~50隻従漁、平年漁をなす。10月には一般に好況を呈したるが11月上旬終漁す。相場1尾4錢~6錢、平年漁。

九、サハラ 5月上旬より従漁、同中旬終頃までは極めて不振。同月末より下旬初にかけ4~5日稍々活況を呈し、優良なるはこの間に600圓内外の水揚を爲す。大體に年々不振なる。従業船は動力船30~50隻位。相場は沖渡し10貫12圓。漁場は竹島より煙島方面(煙島に近き方良好)。

十、アヂ、サバ 於青島、外煙島方面のサバ流網漁船6月上旬初漁、初め4~8隻の従業を見たるが6月中旬本道沿海甚だ不況のため南方旺島、鮫馬島沖合に北方格列飛島近海に出動せり。同中旬頃鮫馬島附近好漁なりし爲本道沿海の従業船は前年の3分の1に過ぎず、引續き不振のまま、下旬終漁。漁獲高。於青島根據の漁船は900圓~2,000圓、好適漁場を繰り合せ従漁せるもの400圓~4,500圓の水揚せるあり。相場は前年より更によく7錢5厘を下らず。格別飛島方面にては2,000尾乃至3,000尾位の漁獲にて稍々良好、操業日數4日にて最高800圓最低600圓位の水揚なりしが、漁獲物賣却の都合にて下旬には鮫馬島方面へ南下せり。同方面の従業船は約80隻位なりき。

7月中於青島を根據せる巾着網漁船2組、上旬嵯島近海にて80萬尾、中旬於青島近海にて40萬尾の水揚を爲す。大部分内地に搬出、地元賣りのもの1尾1錢5厘~2錢5厘。流網漁船7

月上旬中旬より中旬初頃に互り大黒山島北方沖合にて好漁。従業船70隻位。

管内漁船3隻、南方に出漁せるもの8月末歸港し本年春漁を終る。

十一、タチウヲ 6月上旬煙島沖6哩乃至8哩附近、小型鮫鱈網漁船30隻位従業。同中旬頃より延平島漁場より南下したる大型鮫鱈網漁船80隻乃至100隻例年の通り従漁す。本年不漁にして80圓~200圓の水揚に過ぎず。煙島を根據とする延繩漁船亦不漁。1尾4錢~7錢。

9月。於青島西沖2哩~5哩附近、小型釣漁船30隻位従漁。9月上、中旬平年漁、下旬稍々活況を呈す。

漁獲物は島渡しして處分せられ、一部鹽藏群に賣却せらる。相場1尾5錢~10錢。

十二、ヒラ 漁期。6月初旬初漁、同中旬盛期、下旬終漁。漁場。錦江内。漁具。流網漁船20隻。漁況。最高800尾乃至1,000尾にて極めて不況。相場。平均1尾8錢内外。

十三、スズキ 漁期。6月初旬より8月下旬まで。漁場。錦江下流加乃島附近より開也島、古群山方面。漁船。小型漁船。初期20隻~30隻、8月50隻~80隻。漁況。本漁業は一本釣漁業で漁獲高は本漁期を通じて最高150圓~100圓位で平年さ大差なし。8月群山陸揚げ5,480圓。相場は1圓30錢~2圓40錢、10貫17圓~18圓。

十四、シイラ 本年初めて當業者従漁。於青島西沖8哩~38哩附近、シイラ漬22個。漁期。8月及び9月。8月下旬活況を呈し1網17箱~20箱(1箱28尾)位のものあり。魚體稍々小。魚價はこの種魚類の知られざるため低廉にして1尾7錢~8錢位。

十五、カタクチイワシ(ヒシコイワシ) 於青島地曳網不振の爲本年休漁。焚寄網及び手網船10隻位従業。8月上旬、中旬若干漁ありしも極めて不況。

十六、タラ 群山根據の漁船は試験船萬頃丸の外二艘曳2組。於青島近海極めて不漁。

10月中旬頃より「秋漁期」に入る。萬頃丸於青島沖合にて操業せしも好ましからず。

格列飛島北西微北56哩附近にては近年になきタラ豊漁にして漁船何れもこの方面に出漁し、1航海千數百箱の水揚を爲す。相場は1箱1圓10錢~2圓位。11月、12月引續いて豊漁、近年稀れる現象を呈し12月には各組共1萬圓以上の水揚をなす。好況のまま年を越す。

忠 清 南 道

一、エヒ、タラ、コブカ 延繩漁業 漁場。格列飛島北西沖、外煙島西沖。

格列飛島沖においては20~30馬力の發動機船10~13隻出漁。11月、12月天候不順なりし外は概して好天に恵まれ例年さ大差なき水揚を爲す。

外煙島西沖において近年漁場北方に擴張するため冬期は出漁するものなく、僅かに5, 6, 10月において小型帆船の出漁を認むるのみ。従つて漁獲著しく減少せり。

漁獲高表

エヒ(附タラ)

| 漁期 | 出漁船数 | 漁獲高 | | 出漁回数 | 漁場 | タラ(エヒの副漁) | |
|-----|-------|--------|--------|------|---------|-----------|-------|
| | | 数量 | 金額 | | | 数量 | 金額 |
| 1月 | 13隻 | 7,300尾 | 3,350圓 | 2航海 | 格列飛島北西沖 | 1,200尾 | 247圓 |
| 2月 | 10~13 | 14,500 | 6,285 | 3 | .. | 4,500 | 768 |
| 3月 | 13 | 7,140 | 3,216 | 2 | .. | 2,800 | 400 |
| 4月 | 13 | 6,450 | 3,263 | 2 | .. | 1,350 | 135 |
| 5月 | 4 | 650 | 194 | 1 | 外煙島沖 | — | — |
| 6月 | 2 | 70 | 264 | 2 | .. | — | — |
| 6月 | 1 | 750 | 315 | 1 | 格列飛島北西沖 | — | — |
| 10月 | 1 | 80 | 32 | 1 | 外煙島沖 | — | — |
| 11月 | 4 | 3,020 | 1,229 | 2 | 格列飛島北西沖 | 820 | 246 |
| 12月 | 4 | 5,350 | 2,612 | 2 | .. | 2,260 | 688 |
| 合計 | — | 45,310 | 20,760 | 18 | .. | 12,930 | 2,484 |

(備考) 安興, 外煙島漁業組合調査による

コブカ

| 漁期 | 出漁船数 | 漁獲高 | | 出漁回数 | 漁場 |
|-----|------|--------|--------|------|--------|
| | | 数量 | 金額 | | |
| 1月 | 13隻 | 1,800尾 | 1,110圓 | 2航海 | 格列飛島北西 |
| 4月 | 1 | 230 | 92 | 2 | .. |
| 6月 | 5 | 4,620 | 1,086 | 3 | 外煙島西 |
| 9月 | 2 | 2,200 | 660 | 2 | .. |
| 10月 | 1 | 2,340 | 660 | 3 | .. |
| 11月 | 3 | 1,560 | 468 | 2 | 格列飛島西 |
| 合計 | — | 12,750 | 4,076 | 14 | .. |

二、グチ

1. 柱木網漁業 漁場. 保寧郡鹿島, 插矢島沿岸. 約110基操業。漁期. 自4月下旬至5月中旬, 例年大差なし。

4月20日頃初漁期に入る。1基當1日10尾内外の水揚にて5月中旬終漁。鹿島總水揚1,193尾(54圓)例年になき不漁。

2. 延繩漁業 漁場. 舒川郡, 保寧郡, 瑞山郡各沿海。漁期. 保寧郡, 自4月中旬至5月上旬。舒川郡, 自5月上旬至7月上旬。瑞山郡, 自10月下旬至11月下旬。

4月15日頃保寧郡沖(鹿島沿海を中心)に約50隻出漁し, 4月25日頃には約200隻となり, 1日1隻最高1,000尾, 最低200尾の漁獲あり。5月上旬に入り薄漁となり舒川郡に移る。保寧郡沖における1隻當最高220圓, 最低30圓にして例年に比し稍々好漁。

舒川郡においては出漁船約35隻, 5月上, 中旬稍々盛況を呈したるも以後振はず。6月下旬~7月上旬には3~4隻の出漁船にさざる。本漁場總水揚99,770尾2,868圓。1隻當最高100圓, 最低50圓。

瑞山郡沖, 10隻出漁, 5,100尾480圓, 主としてコイチなり。

3. 角網漁業 漁場. 瑞山郡南面, 安興沿海。漁期. 自5月中旬至6月下旬。3統操業, 5月下旬~6月上旬を盛期とす。1統當水揚約500圓。

4. 鮫鱈網漁業 漁場. 舒川郡沖, 瑞山郡格列飛島近海。漁期は5月。出漁船約20隻, 1隻1日5,000~10,000尾。總水揚1隻最高500圓, 最低200圓程度。

三、タチウラ

1. 柱木網漁業 漁場. 保寧郡鹿島, 插矢島海岸。漁期. 自4月下旬至6月下旬。110基操業。4月20日より操業を始む。1日1基當15尾内外。5月20~50尾内外(稀に80尾)。6月15日終漁。總水揚鹿島171,960尾8,093圓, 插矢島は鹿島より約2割方多し。

2. 魚箭漁業 漁場. 舒川郡沿岸, 3基操業。漁期. 5月上旬至7月上旬。初期より盛況を呈し6月中旬まで好調繼續せるも6月下旬以後不振。總水揚31,170尾1,547圓。1基當平均500圓。

四、バンヂー(蘇魚), 柱木網漁業

漁場. 鹿島, 插矢島沿岸, 約110基操業。漁期. 自4月下旬至5月下旬。初期4月下旬好漁, 5月に入り半減, 同下旬終漁。鹿島における總漁獲高24,525尾2097圓。

五、サハラ

1. 流網漁業 漁場. 舒川郡近海。漁期. 自5月中旬至5月下旬。5月12日10隻餘出漁開始, 18~19日に約80隻從漁, 最高300貫~370貫, 最低5貫, 普通30貫~50貫の水揚。魚價10貫に付13圓~14圓。

5月20日以後急に薄漁となり24日には全部引揚ぐ。帆船流網は北上し發動機船流網は鯖流網に切替へす。本期における出漁延べ620隻, 總水揚約22,000貫, 25,000圓。

2. 曳釣漁業 漁場. 外煙島沿海, 2隻操業。漁期自9月上旬至11月上旬。特に盛漁の時期なく毎月100貫~200貫の水揚, 總漁獲高909貫920圓, 單價10貫に付9圓~12圓。

3. 石繰網漁業 漁場. 外煙島沿海, 1組の通漁船操業。漁期8月中, 下旬。總漁獲高1,100貫

1,210 圓。

六、タヒ角網漁業 漁場、瑞山郡南西沿岸，3統操業。漁期、自4月下旬至7月上旬，盛期5月上旬～6月中旬。總水揚1,611貫，3,541圓。1貫に付2圓～2圓50錢。1統當1,200圓の水揚。

七、サバ、アチ

1. 一本釣漁業 漁場、瑞山郡弓矢島附近(格列飛島東部)。漁期、自6月下旬至10月上旬，盛期7月下旬～8月下旬。出漁船18隻前後。總漁獲高46,660尾5,642圓。1隻當最高700圓，最低200圓。

2. 流網漁業 漁場、外烟島，於青島近海。漁期、6月(6月7日初漁，7月2日引揚ぐ)。

例年30～40隻の出漁船あるも本年は全南蜆島沖において近年になき大漁續き漁船北上せず，且つ本漁場には魚群薄く甚だしく不振。1日の出漁船2～3隻乃至11隻。本期における總漁獲高130,707尾7,088圓，單價4錢～7錢3厘。引續き出漁したるものは最高1,200圓，最低500圓，他は240圓以下の水揚げなり。(因に，昨年同期における總水揚は639,244尾34,219圓，1隻當300圓～3,000圓，平均1,140圓)。

3. 巾着網漁業 6月10日頃2組の漁船ありしも於青島沿海には漁獲を認めず。7月6日頃外烟島北側において約70,000尾の漁獲を得たるのみに終りたり。

八、イヒダコ

壺繩漁業 漁場、舒川郡，保寧郡，瑞山郡各沿岸。漁期、2月26日頃より初漁に入る—この冬水溫高かりしため(平年に比し2～3度の高溫)約20日間早し。3月下旬より4月中旬まで盛漁，5月上旬に入り終漁。

各所漁獲高概況次表の如し。

| 地方別 | 出漁船 | 漁獲數量 | 金額 | 漁期(盛期) |
|-----|-----|----------|--------|---------------|
| 舒川郡 | 16隻 | 269,020尾 | 1,453圓 | 盛期4月上旬 |
| 保寧郡 | 20 | 220,000 | 1,300 | 盛期4月中旬 |
| 瑞山郡 | 37 | 141,300 | 680 | 盛期4月下旬 |
| 合計 | 73 | 630,320 | 3,433 | (盛期南部より北部に進む) |

九、アナゴ

延繩漁業 漁場、外烟島沿海。漁期、自8月中旬至11月中旬。盛期さいふべき時期なく，毎旬22隻内外の小型船出漁，500貫～800貫の水揚をなす。總水揚6,245貫2,032圓，1隻當平均100圓。例年に比し好況。

京 畿 道

エビ(アキアミ) 鮎鱈網漁業

| | 徳積漁業組合管内 | | 龍游漁業組合管内 | 北島漁業組合管内 |
|--|--|---|--|--|
| 漁 場 | 徳積島，蔚島，池島，木徳島近海。特に蔚島周囲5～6 裡附近 | | 小舞衣島，大舞衣島間の海峡並に小舞衣南方5 裡一圓 | 西晩島西方2 裡及長峯島南方4～5 裡一圓 |
| 漁 期 | 「春 期」 自4月上旬至7月下旬 6月初旬より7月下旬までの間、黄海道龍媒島方面へ出漁する船多し | 「秋 期」 自9月10日至10月末日 例年11月10日頃終漁。今秋漁不況且つ支那輸出激減價格暴落の爲早く切揚ぐ | 「春 期」 自4月初旬至8月初旬 「秋 期」 自9月下旬至12月下旬 | 「春 期」 自4月初旬至8月初旬 「秋 期」 從漁せず |
| 出 漁 船 數 | 約150隻(道内) 自5月初旬至6月初旬 多くは延平島流場に出漁す。當漁場に殘留約30隻 | 約250隻(道内) 約200隻(道外) | 「春 期」 約100隻(道内) 「秋 期」 約120隻(道内) | 「春 秋」 70隻(道内) |
| 漁 況 | (昭和11年) 582,421斤 (12年) 1,147,514斤 前年に比し約9割増 前年に比し約8割減 | 1,465,398斤 315,518斤 前年に比し約13割増 前年に比し約7割減 | 春{(11年) 653,971斤 (12年) 1,481,131斤 秋{(11年) 565,331斤 (12年) 174,481斤 | 江合(11) 1,040,133斤 華管(12) 1,301,257斤 華管(11) 1,245,281斤 組内(12) 1,191,183斤 |
| 各海區を通じ春期の漁況は稀有の豐漁なりしが之れに反して秋漁は例年になき不況に終りたり | | | | |

黃 海 道

一、ゲチ，鮎鱈網

4月中旬巡威島南西15～30 裡附近に約30隻出漁せるも1回20～30尾の漁獲に過ぎず。4月下旬より稍々良好となり1回操業に依る漁獲50～2,000尾(魚價1,000尾に付27圓～21圓)なり。5月上旬九月浦南方に約200隻集結す，5月中旬には流場延坪島近海より巡威島近海に擴大し操業船約800～1,000隻にして盛漁期に入り最高180,000尾を漁獲せる船有りたるも5月20日以後漁獲激減し1回20～30尾の漁獲となり漁船の多くは平北又は全南方面に移動を開始し延坪島近海には漁船數十隻を殘す程度となり例年より約1潮早く終漁となる。(魚價5月中旬20～10圓，5月下旬15～7圓50錢)

二、エビ，鮎鱈網

例年同様6月末初漁あり，延坪島(毛伊島)南東約半裡の處に約70隻龍媒島沖合に約200隻出漁し1回50～70斗の漁獲あり，前年に比し好漁なりしも賣買相場立たず漁獲物は煮乾エビの原料

まして生鮮の儘業者に賣渡し値段は製品をなしたる後決定する事さす(單價1斗に付30錢)

7月に入り龍媒島沖合2哩、延坪島沖合1哩睡鴨島約半哩の水深4~8尋の處に約800隻操業し7月下旬を盛漁期とし1回約70斗の漁獲あり。7月末より漁獲俄に激減し8月上旬約600隻操業せるも1回15~20斗漁獲あり。大體に於て8月中旬終了となりたるも一部の漁船は10月初旬まで延坪島沖合に於て操業す。

本年度の漁況は例年と大差なかりしも7月の上中旬にはエビにカナダリ多く混入し漁獲物の品質悪く凶漁の原因となれり。

エビ鮫網は小潮に操業し大潮にニベ、タチ鮫網に従事せる漁船7月中は約100隻を超えたるも不漁に終れり。

ニベ延縄も9月より10月下旬迄操業せるも例年より不漁に終れり。

三、イカナゴ、船曳及地曳網

本年度は水温前年に比し約2℃低く初漁は約1潮遅く5月上旬にして長淵郡一帯より椒島に至る沖合及沿岸に地曳網約40統、船曳網約450隻出漁したるも魚群淡く船曳は1隻約100斗の漁獲なり。

5月末より水温昇り6月上、中旬盛漁期となり船曳は1日約20斗、地曳網は1日約70斗の漁獲あり豊漁を呈せり。

6月末より終漁に入りたるも大青、白翎島に於ては7月中旬迄約300隻の船曳及約20統の地曳網出漁し例年より豊漁を呈せり。

漁箭に依るイカナゴ漁期は5月上旬より10月下旬にして瓮津郡沿岸約100ヶ所に於て例年に比し豊漁を呈せり。

四、エビ、延縄

11月中旬小青島西方沖合に約20隻出漁し例年より稍々豊漁をなす。漁期は11月中旬より翌年の6月下旬迄にして例年に比し稍々豊漁をなしたり、盛漁期は4月上旬~5月下旬なり。

椒島近海は漁期3月下旬~6月下旬にして出漁船約60隻あり、前年に比し稍々不漁なり。

昌麟島、龍泉面、麒麟島沖合の漁期3月下旬~10月下旬にして出漁船約40隻、前年に比し豊漁なり。

五、サハラ、流網及空釣繩

7月上旬より11月上旬迄にして夢金浦沖合に9隻出漁したるも前年に比し漁獲約2割の減少を示せり。

瓮津郡沿岸に約4隻、空釣繩船出漁し1隻100圓餘の漁獲あり。

六、タチウヲ、延縄

漁場は龍泉面より椒島に至る近海にして8月上旬約120隻出漁し1回平均約50尾漁獲す。9月の盛漁期に於ける出漁船約170隻、1日の漁獲高約280尾にして本年度は一般に不漁の儘11月上旬終漁せり。

本漁業に依り椒島附近に於て例年フカの混獲を見るも本年はフカの漁獲殆んど無きは特異現象なり。

七、カタクチイワシ、地曳網

漁場はイカナゴ漁場と同じく漁期は9月上旬より11月初旬にして操業統數約30統。漁獲高は例年より約3割程度の減少なり。

八、ノリ

漁場は瓮津郡一帯の沿岸にして築建込後數回に互る暴風の爲に築柵多數の破損流失し原藻の流失等被害極めて多く第1回の潮は12月末にして前年に比し約1潮早く生産したるも數量極めて少く第4, 5, 6, 7の各潮にはドタの發生旺盛なる爲一般に製品の出廻不振にして例年に無き減收を示せり。

平安南道

| 主要漁業別 | 漁期 | 主要漁場 | 出漁船數 | 漁獲高 |
|-------------------|---|------------------------|-------|----------|
| 鮫網漁業 | { 自4月中旬 至12月中旬 | 大同江口徳島近海及東西兩水道 | 282隻 | 605,166圓 |
| 建干網漁業 (掛網を含む) | { 自4月中旬 至11月中旬 | 平原郡西海面より龍岡郡費城面地先に至る間一帯 | 70 | 84,474 |
| 柱木網漁業 | { 自4月中旬 至6月下旬 | 安州, 平原, 江西各郡地先 | 48 | 73,391 |
| 築漁業 (魚箭を含む) | { 自4月中旬 至11月上旬 | 江西, 平原郡沿岸 | 14 | 35,952 |
| 中船網漁業 (弓船網を含む) | { 自4月上旬 至11月下旬 | 大同江下流, 平原郡, 三千浦沖合 | 206 | 119,329 |
| 桁網漁業 | { 春4月15日 至6月15日 秋9月15日 至10月31日 | 龍岡郡, 平原郡沿海 | 127 | 74,010 |
| 採具漁業 | { 禁止期間及結氷期間を除く | 本道沿岸一帯 | 5768人 | 211,843 |
| 機船底曳網漁業 | { 自9月上旬 至6月上旬 | 本道及黄海道沖合 | 4隻 | 30,000 |
| ヒラ流網漁業 | { 自6月上旬 至7月中旬 | 清川江口及其沖合 | 23 | 14,792 |
| ニベ延縄漁業 | { 自5月上旬 至10月上旬 | 安州, 平原, 龍岡郡沖合 | 53 | 40,000 |
| サハラ流網漁業 | { 自9月上旬 至10月中旬 | 龍岡郡沖合及黄海道沖合 | 3 | 3,700 |

本年は例年に比し解氷約1ヶ月遅れたるため春の漁業開始は何れも相当遅延を見たが、その後天候、海況極めて順調なりしと魚價高の結果寧ろ漁獲高の増加を見た。

鯨網漁業においては、春漁のグチは平年漁なりしも6月下旬よりタチウオの漁獲急増したり。9月よりタチウオの本格的漁期に入りしも總漁獲高は前年に及ばず。尚ほ本年は例年に比しクラゲの発生少く、例年の如くクラゲのため漁網を損傷せるもの少し。

採貝漁業中シホフキは前年発生したる稚貝の保護良好なりしたため近年になき好漁なりき。

シラウオは中船網、弓船網、鯨網等により漁獲せらるるものなるが、前年の漁獲成績良好なりし結果3月末頃より漁船増集し製品約12,000貫を生産せり。

其他例年と大差なし。

平安北道

| 漁業別 | 漁期 | 主なる漁獲物 | 漁場 | 出漁船数 | 漁獲高 | 漁況 |
|-------------|-----------------|-----------------------|----------------------|------|------------------------|--------------------------|
| 鯨網漁業 | 3月~7月 8月~11月 | グチ, タチ, エビ ニベ, アミ | 平安南北道, 黄海, 京畿各道沿海 | 881隻 | 7,724,575斤 747,722圓 | 稍不漁, 漁期早く 到來, 終漁も亦早し |
| 魚箭漁業 | 3月~6月 8月~11月 | グチ, タチ, バンジ | 本道沿岸一帯 | 266 | 3,107,953斤 255,345圓 | 稍不漁, 漁期短期 に終漁す |
| エビ柱木網 漁業 | 3月~6月 8月~11月 | エビ, バンジ, シラ ウオ, エツ | 新島, 多獅島, 艾 島沖合 | 127 | 1,524,500斤 107,950圓 | 普通漁 |
| 張網漁業 | ” | ” | ” | 4 | 86,400斤 11,520圓 | 豊漁 |
| 建干網漁業 | 4月~11月 | タチ, バンジ, コ ノシロ | 本道沿岸一帯 | 56 | 381,447斤 39,655圓 | 豊漁(2割増), 時化 少く漁期長期に互る |
| 延縄漁業 | ” | ニベ, グチ, スズキ | ” | 216 | 734,466斤 88,601圓 | 不漁 |
| エビ抄網 漁業 | 3月~10月 | エビ | 龍川, 宣川郡沖合 | 17 | 20,249斤 2,880圓 | 好漁 |
| ヒラ流網 漁業 | 6月~7月 | ヒラ | 清川江口 | 43 | 39,200斤 9,100圓 | 不漁 |
| 捕貝漁業 | 周年 | バカガヒ, アサリ, カキ | 沿岸一帯 | 58 | 607,000斤 32,500圓 | 稍不漁 |

備考 昭和12年における本道沿岸の解氷は例年に比し約1週間早く、爲に一般漁業の春漁期も早く到来し且つ例年より短期間に終漁す

マイワシ漁況(昭和12年)

一 慶南沿海附慶北冬漁

慶尚南道 1月、方魚津、機張沿海流網漁、50,906圓(前年に比し33,532圓の増) 出漁船数方

魚津70隻、機張59隻、1隻最高364圓、最低92圓。引續き2月好調に経過す。3月、南海郡及巨濟島沖合の流網漁初漁期に入る、漁場比較的廣範圍に互る。4月、同じく巨濟島沿岸に出漁、月末亭子沿岸に好漁を見たも續かず大體平年並みす。5月各地共豊漁、蔚山郡近海流網1日平均130隻出漁、當月中の水揚10,303樽、前年の2倍以上す。魚價1樽2圓。巨濟島近海流網1日平均135隻出漁し1隻平均最高1,000圓、最低300圓。5月中の總水揚高50,000樽以上、前年同月の8,000樽に比し6倍以上。出漁船数の増加も一因なるが本年特にこの巨濟島近海豊漁なりしもの多し。鎮海灣内小臺網4統4,060貫にて好漁。6月中旬より漸く終漁期に入り巨濟島近海は7月2日全く終漁なる。本年は漁期中時化の爲休漁の日多かりしも一般に好漁にして結局昨年比し2割内外の増獲を認めらる。尚ほ好況のため従業船数も前年より3割内外増合せり。

慶尙北道 昭和12年(1~12月)中の漁獲高379,620樽765,268圓、前年(昭和11年)中の649,402樽143,469圓に比すれば半減に近き減獲なるも前々年(昭和10年)と比較すれば大差なく略々平年漁みす。

「冬漁」流網漁業 前年(昭和11年)11月より當年3月まで、總漁獲高125,703樽280,430圓にて豊漁。特に12月(27,000樽)、1月(82,000樽)好況にして出漁船数335~336隻、甘浦、良浦、大浦、清河、丑山沿海を漁場す。

巾着網漁業 前年12月47隻従業、156,942樽391,605圓の大漁を爲し、續いて1月92隻従業、51,202樽91,401圓の水揚あり。漁場は大浦、浦項、丑山、江口、盈徳沖合。

定置網漁業 前年11月及12月の兩月合計6,000樽12,000圓の漁獲あり、以後極めて僅少なり。

二 東海春(夏)漁

4月東海岸慶北、江原沿海マイワシ春漁(流網)漁期に入る。慶尙北道、4月中浦項以南沖合及び曲江、松羅、盈徳、丑山各沿海總漁獲高19,937樽30,076圓、5月全沿岸及び鬱陵島附近を漁場とし47,896樽81,960圓、6月最も盛んにして60,505樽154,242圓の水揚あり。7月40,648樽90,592圓を以て殆ど終了す。前年に比すれば甚だしき減額なるも同年は異例の豊漁なりしものにて平年に比すれば必ずしも大差なし。

江原道にあつては4月中旬蔚珍郡下に流網による初漁あり、漁場次第に北漸し5月中旬全沿海漁期に入る。6月中旬より本格的の漁期となり7月下旬を以て春(夏)漁を終る。江原道當年の春(夏)漁況は、注文津附近格別の好漁にして例年になき水揚高(216,340樽)にて本道春(夏)漁期の總漁獲高622,413樽(7月末現在)の約3割を示したるが、他の地方において減少を見たるにより道内總漁獲高としては例年並みなる。

咸鏡南道 5月中旬頃より多少の回游あり、同下旬より従漁船(流網)稍々増加す。5月中の漁獲高6,850樽。6月上旬表面水温南部15度内外、北部13度内外、遮湖東方40~50哩より120哩附近並に麗島沖合50~60哩より100哩附近にも鱈魚群認めらる。主要漁場は遮湖東方20~30哩附近、6月中の漁獲高45,602樽、主として帆船流網(端川、群仙、遮湖、新昌、新浦、前津、三湖)による。7月上旬(7~10日)調査(咸南水試)は遮湖東方30哩附近及び同80哩附近において漁獲を爲し、なほ同130哩附近においても魚群を認めたるが、各點共従業漁船を見ず。一般漁船は7月中旬頃よりフカによる被害のため休漁し春漁を終る。7月帆船流網による漁獲高7,612樽。

巾着網漁業 7月14日1隻出漁、遮湖沖合において約180樽の初漁を爲す。7月中の漁獲高26,693樽。續いて8月巾着網漁船約80隻、主として遮湖を根據として同東方沖合25~30哩附近より北方稍々廣範圍に互りて操業せるも思はしき漁なく、漁獲高1日1隻平均50樽位に過ぎず。中旬までは多少の漁ありしも下旬に入り殆き休漁状態となる。8月上旬表面水温25~27度、平年(及び前年)に比し4度餘の過高にして可なり著しき高温なり。

三 北鮮近海

一、北鮮近海夏漁

5月27~28日頃より漁大津以南城津沖合帆船流網によりぼつぼつ漁あり、6月5~6日頃國境西水羅沖に及ぶ。初漁以來6月末までの沿岸主要漁業組合別(帆船及機船流網漁船による)鱈漁獲高

| | |
|-----|--------|
| 鶴南 | 3,067樽 |
| 城津 | 21,090 |
| 泗浦 | 6,033 |
| 良化 | 4,604 |
| 漁大津 | 12,284 |
| 清津 | 3,515 |
| 梨津 | 5,814 |
| 西水羅 | 1,746 |
| 造山灣 | 1,536 |
| 雄基 | 7,075 |

左の如し。

7月、本道沿海40~50哩沖合において操業、漁場一定せず、同下旬頃より鱈巾着網漁船數隻操業開始、城津(7月下旬)、西水羅(8月上旬)一時稍々好漁の兆ありたるも續かず8月中旬に至り中斷、その後漁獲を見ず、僅かに23日頃獨津及び漁大津方面の定置網に約1,000樽内外の漁獲を見たるに過ぎざりしが、同30日に至りボセット灣附近より西水羅、豆滿江沖10哩附近に魚群を見、その後9月5~6日頃より巾

着網船操業、1隻にて1,000樽の漁を爲したるものあるも一般に8月に引き續き9月中は不振に經過せり。

二、北鮮近海秋漁

10月8日ボセット灣より南下して豆滿江口にその姿を現はし15日西水羅において相當漁あり、16~17日の大時化により一時休漁状態なりしが18日には草島、清津、漁大津沿岸2~3哩附近廣範圍に互りて濃厚なる魚群密集し、巾着網漁俄然活氣を呈し19日には各船2,000樽以上の水揚げを

爲し、流網船亦僅か10分乃至20分の投網により滿船するが如き好漁を爲したり。

引續き10月下旬清津、獨津、漁大津沖において好漁を持續し、23日には本年最高の水揚げを示し28日に至る。29日時化にて休漁せしも31日、11月1日好漁を續け11月初旬に入り、同6日時化のため魚群の一部舞水端を通過して南下し城津方面に好漁を齎らし、一部はなほ清津沖合に停帶し更に7~8日には別魚群後續連川沖に現はれ、10日清津沖に群來して再び同地方活況を呈し、同15日以降においてもなほ清津、獨津、漁大津方面に停留し引き續き好漁あり。かくして11月下旬に入り25日の時化により魚群の大部分は黃津、舞水端を経て城津以南方面に南下し一部分なほ清津沖に滞留するありて月末30日まで小漁ありたるも思はしき漁なく12月に入る。

12月5日頃清津沿海表面水温7度に降下、漁期終り巾着網船殆き全部操業を切り上げ本年の漁を終る。

四 東海秋漁

咸鏡南道 9月19日魚群探檢飛行機よりの快報により北部咸南北道境方面に一齊出漁、巾着網船も本格的に操業を始め、1日平均2萬樽乃至3萬樽の水揚げあり。漁場は比較的沖合にして北部道境附近より新浦沖合まで、距岸15哩より40哩附近迄にして群仙、遮湖附近その中心たり。10月に入り流網漁も相當ありしが定置網には殆き漁獲も見ず。10月4日現在漁獲高累計46萬樽、前年同期に比し3萬樽の増加を示し、引き續き10月中豊漁を續け、下旬1日平均10萬樽の水揚げを見るに至る。11月に入りても略々同様活況を續け11月末日累計3,179,178樽、内新浦193萬樽、遮湖51萬樽、群仙21萬樽、三湖12萬樽、新昌11萬樽、西湖津10萬樽等とす。(1樽價2圓25錢、12月より1圓65錢)

江原道 北部、10月に入り北鮮に出漁中の沿岸各地の流網船、彼地において思はしからずさし南下歸來するもの漸増し、巾着網船亦9日約40隻南下す。10日夜半より水源端沖北東10哩乃至20哩において巾着網及び流網に初漁あり、當日巾着網船最高1,400樽、最低75樽、平均100樽の水揚げを見たり。引續き巾着網船多數南下し操業したるも漁薄く12日以後荒天となり操業せず、巾着網船の多くは新浦方面に北上せり。同18日以後再び巾着網船120隻餘南下操業、水源端及び松島沖合距岸10哩乃至20哩附近の處において好漁し1日1隻の漁獲高最高1,500樽最低300樽平均600樽内外、流網漁船は高城郡巨津里より襄陽郡我也津までの間の沖合距岸10哩乃至15哩附近において好漁し1日1隻の漁獲高最高150樽、最低30樽、平均50樽内外の水揚げを示し、定置網にありては庫底港附近地先において1,300樽の水揚げあり。10月末新浦沖合豊漁の報あり、巾着網船、流網船共に同方面に出漁し江原道沿海休漁状態となる。

11月初め南下したる巾着網船約50隻、庫底港を根據として同沖合距岸20哩附近にて操業したるも漁薄く、6~7日にいたり巾着網船及び流網により約48,000樽の水揚げあり、1日1隻の漁獲高巾着網船最高1,500樽、最低600樽、平均1,000樽内外なり。8~9日頃遮湖方面豊漁の爲北上、10日頃より巾着網再び長箭、庫底を根據として各10~20哩沖合において操業中なりしも未だ盛況を呈するに至らず1日1隻平均200樽内外に過ぎず、其後引續き魚群薄く、且つ荒天續きにて不振、月末30日に至り約3萬樽の水揚を見たるのみ。流網亦同様不況に經過せり。

12月上旬、巾着網漁船主として長箭及び庫底を根據として卯島附近に操業、1日1隻1,200樽~100樽、平均300樽、總水揚1日最多50,000樽、最低20,000樽、平均30,000樽にて稍々好漁を見たるも活氣を呈するに至らず。流網漁業は江原道沿岸一帶距岸3~4哩附近において稍々豊況を呈し1日1隻200樽~10樽、平均60樽。

12月中旬、巾着網漁船470隻従漁、各地共稍々活況を呈し就中長箭沖合には濃厚なる魚群來游距岸4~5哩附近において1日1隻最高1,000樽、最低200樽、平均500樽内外の水揚を見たるが17日以後時化の爲休漁、尙ほ16日頃注文津へ南下したる漁船5~6隻あるも思はしからず。流網漁は沿岸各地距岸3~5哩附近を漁場とし、なほ南部蔚珍郡下においても初漁を見たり。

12月下旬、22~23日長箭沖合距岸3~4哩附近において巾着網漁船120隻により約13萬樽の水揚を爲したるも其の後月末まで時化續きにて操業意の如くならず、地元船を除きたる外全部三陟、蔚珍沖合に南下したり。

1月(昭和13年)に入り墨湖以南に魚群の來游を見巾着網及び流網出漁、5日3萬樽、7日2萬樽の水揚げを爲す。1月12日、14日厚浦及び墨湖沖合3~4哩附近において1隻平均500樽の水揚げを見たるも其の後時化續きにて出漁せず。1月中旬を以て當期漁終了す。

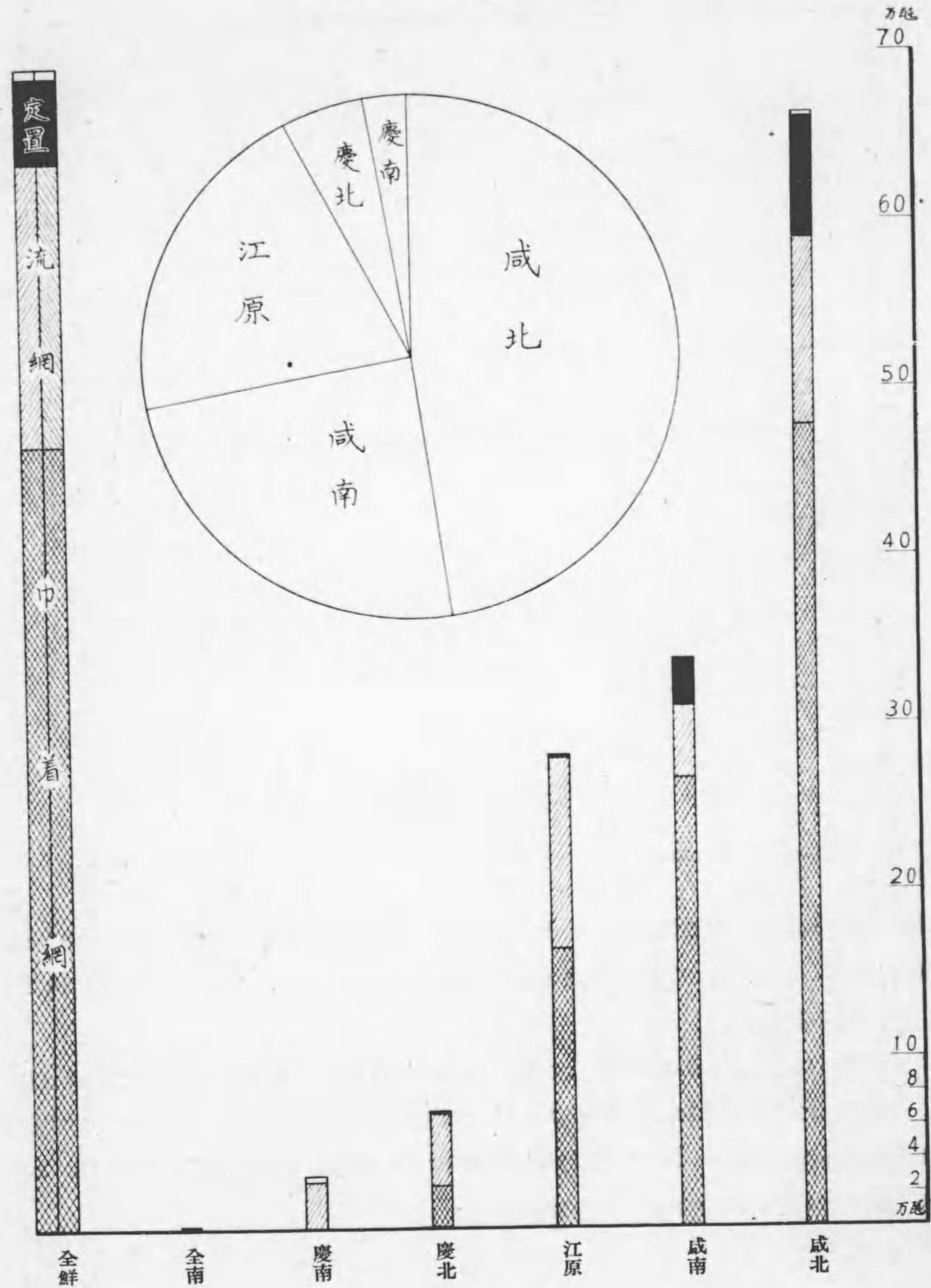
江原道管内昭和12年漁獲高次の如し。

春漁 622,413樽 秋漁 2,080,163樽 合計 2,702,575樽

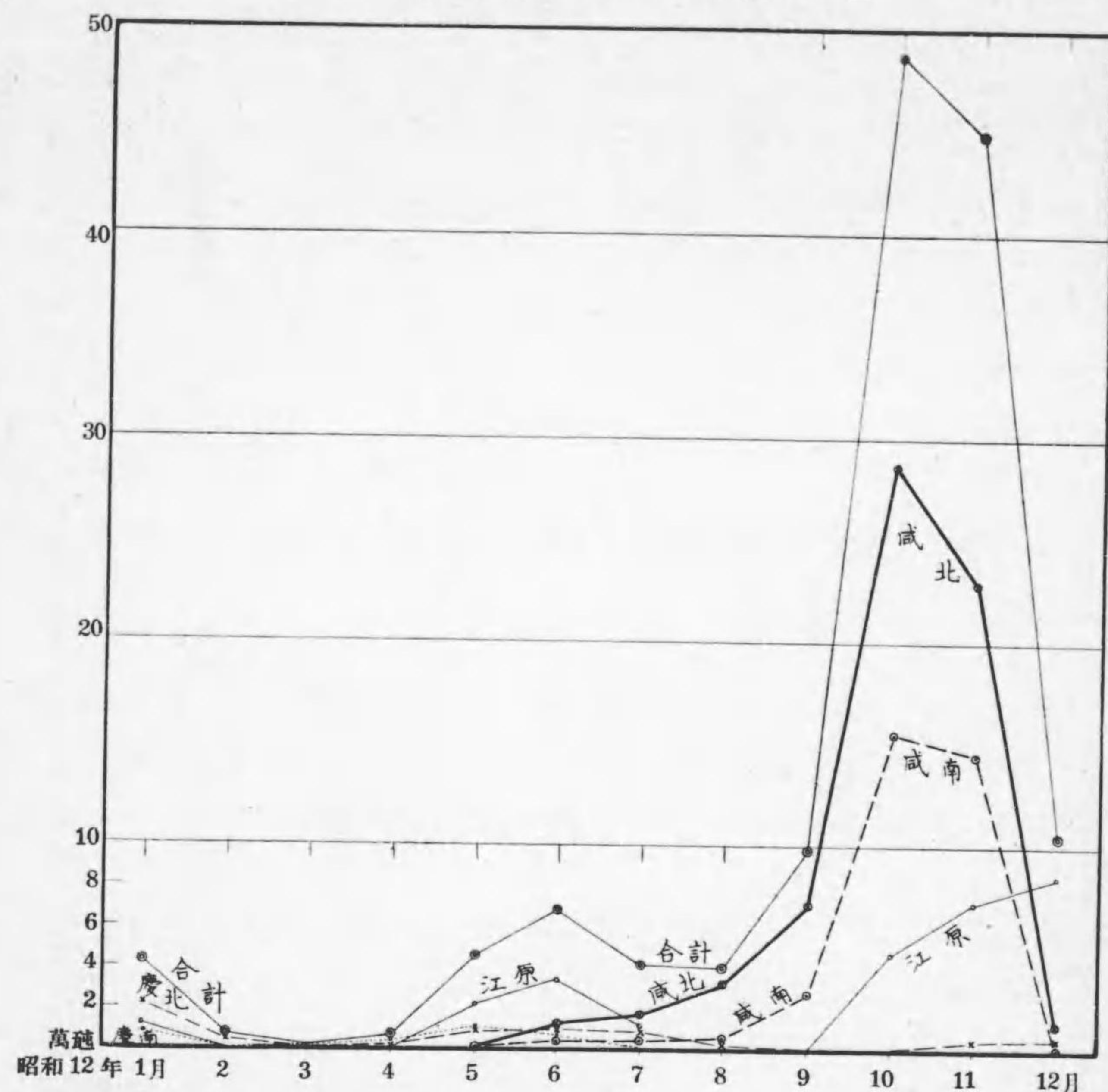
江原道管内マイワシ秋漁漁獲高各年度比較表

| | | 昭和9年度 | 同10年度 | 同11年度 | 同13年度 |
|----|--|---------|-----------|-----------|-----------|
| 庫底 | | 17,340樽 | 155,000樽 | 244,159樽 | 394,454樽 |
| 長箭 | | 527,651 | 677,035 | 1,394,716 | 1,268,964 |
| 高城 | | 32,680 | 41,563 | 46,727 | 70,379 |
| 巨津 | | 8,160 | 13,613 | 10,200 | 5,000 |
| 東草 | | 31,200 | 45,650 | 115,445 | 33,852 |
| 注文 | | 112,930 | 90,267 | 194,392 | 36,697 |
| 墨湖 | | 33,572 | 2,830 | 84,444 | 37,746 |
| 三陟 | | 17,456 | 4,500 | 132,000 | 60,025 |
| 臨院 | | 10,528 | 9,450 | 40,625 | 31,370 |
| 蔚珍 | | 22,000 | 21,000 | 97,900 | 138,450 |
| 合計 | | 813,517 | 1,060,898 | 2,049,048 | 2,080,162 |

A. 各道、漁具別・マイワシ漁獲高(昭和12年)



B. 各道, 月別・マイワシ漁獲高(昭和12年)



慶尚北道 12月中の總漁獲高 48,581 樽 73,318 圓, 内流網によるもの 30,021 樽 45,083 圓(主要漁場 丑山, 江口沖), 巾着網によるもの 6,250 樽 8,750 圓(丑山, 江口), 定置網漁 12,310 樽, 19,485 圓(盈徳, 江口)。

1月(昭和13年)上中旬極めて不振なりしも下旬相當漁有り。巾着網漁船迎日灣沖(20隻)並に江口沖(25隻)にて操業, 114,565 樽 166,359 圓, 流網漁船甘浦(162隻)長鬚, 丑山沿海にて 77,000 樽 126,000 圓の水揚あり, 前年に比し稍々好漁を示す。引き続き2月 8,732 樽 14,865 圓, 3月 9,511 樽 12,874 圓と僅かの漁をつゞけ冬漁を終る。

[附 表]

昭和 12 年 マ イ ワ シ 漁 獲 統 計

A 各 道 漁 具 別 漁 獲 高

| 道別 漁具別 | 咸鏡北道 | | 咸鏡南道 | | 江原道 | | 慶尙北道 | | 慶尙南道 | | 全羅南道 | | 合 計 | |
|-----------|---------|------------|---------|-----------|---------|-----------|--------|-----------|--------|---------|------|--------|-----------|------------|
| | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 |
| 流 網 | 110,949 | 3,368,150 | 42,694 | 1,144,931 | 114,320 | 2,286,421 | 43,055 | 810,360 | 27,895 | 628,896 | — | — | 338,913 | 8,238,758 |
| 巾着網 | 478,068 | 12,525,386 | 267,592 | 7,033,102 | 167,008 | 3,244,562 | 25,410 | 432,000 | 800 | 15,345 | — | — | 938,878 | 23,250,395 |
| 定置網 | 71,487 | 1,802,261 | 29,364 | 691,391 | 1,054 | 22,781 | 1,810 | 29,000 | — | — | 46 | 13,890 | 103,761 | 2,559,323 |
| 其 他 | 1,967 | 39,978 | — | — | — | — | 60 | 960 | 4,114 | 92,807 | 520 | 11,458 | 6,661 | 145,203 |
| 計 | 662,471 | 17,735,775 | 339,650 | 8,869,424 | 282,382 | 5,553,764 | 70,335 | 1,272,320 | 32,809 | 737,048 | 566 | 25,348 | 1,388,213 | 34,193,679 |

B 各 道 月 別 漁 獲 高

| 道別 月 別 | 咸鏡北道 | | 咸鏡南道 | | 江原道 | | 慶尙北道 | | 慶尙南道 | | 全羅南道 | | 合 計 | |
|-----------|---------|------------|---------|-----------|---------|-----------|--------|-----------|--------|---------|------|--------|-----------|------------|
| | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 |
| 1 月 | — | — | — | — | 11,890 | 222,336 | 22,400 | 381,070 | 8,529 | 218,738 | — | — | 42,819 | 822,144 |
| 2 月 | — | — | — | — | 134 | 25,500 | 4,590 | 73,460 | 257 | 6,574 | — | — | 4,981 | 105,534 |
| 3 月 | — | — | — | — | — | — | 590 | 9,550 | 1,036 | 16,311 | — | — | 1,626 | 25,861 |
| 4 月 | — | — | — | — | 1,061 | 13,795 | 2,010 | 32,210 | 4,003 | 62,712 | 11 | 2,240 | 7,085 | 110,957 |
| 5 月 | 1,244 | 36,852 | 1,330 | 49,632 | 21,179 | 399,627 | 9,600 | 173,460 | 11,207 | 232,500 | 115 | 8,412 | 44,675 | 900,483 |
| 6 月 | 11,531 | 425,998 | 3,722 | 122,927 | 34,757 | 718,162 | 9,800 | 196,560 | 7,739 | 199,209 | 219 | 10,225 | 67,768 | 1,673,081 |
| 7 月 | 17,300 | 590,922 | 3,592 | 129,530 | 11,166 | 229,612 | 8,860 | 185,380 | 38 | 1,004 | 216 | 4,328 | 41,172 | 1,140,776 |
| 8 月 | 32,169 | 593,590 | 5,817 | 234,299 | — | — | 2,770 | 49,930 | — | — | 5 | 143 | 40,761 | 1,237,962 |
| 9 月 | 70,951 | 2,009,963 | 26,956 | 881,540 | — | — | 235 | 4,400 | — | — | — | — | 98,142 | 2,895,903 |
| 10 月 | 286,831 | 7,495,320 | 153,571 | 4,268,345 | 45,703 | 960,151 | 880 | 14,980 | — | — | — | — | 486,985 | 12,738,796 |
| 11 月 | 229,460 | 5,913,705 | 144,448 | 3,178,681 | 71,533 | 1,435,187 | 2,900 | 49,320 | — | — | — | — | 448,341 | 10,576,893 |
| 12 月 | 12,985 | 309,425 | 214 | 4,470 | 84,959 | 1,549,394 | 5,700 | 102,000 | — | — | — | — | 103,858 | 1,965,289 |
| 計 | 662,471 | 17,735,775 | 339,650 | 8,869,424 | 282,382 | 5,553,764 | 70,335 | 1,272,320 | 32,809 | 737,048 | 566 | 25,348 | 1,388,213 | 34,193,679 |

昭和十五年十月二十五日印刷
昭和十五年十月三十日發行

釜山牧ノ島
朝鮮總督府水產試驗場

東京市本郷區駒込林町一七二
印刷者 柴 山 則 常

東京市本郷區駒込林町一七二
印刷所 合資 杏 林 舍
會社

特205

876

終